

695 / 795 / 1095 / 1595 / Mark IV / Mark V / Mark VII / Mark X 333386C 電気エアレスプレーヤ

JA

建築コーティング剤および塗料用のエアレスプレー。
一般目的では使用しないでください。ヨーロッパにおける爆発性環境の場所での使用は認可されていません。
22.7 MPa (227 bar, 3300 psi) 最高使用圧力



重要な安全注意

本取扱説明書のすべての警告および説明をお読みください。説明書は保管してください。

関連マニュアル：



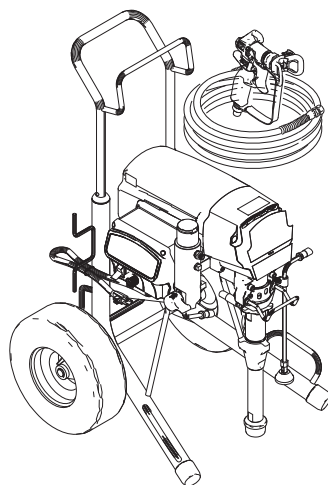
332918
333281



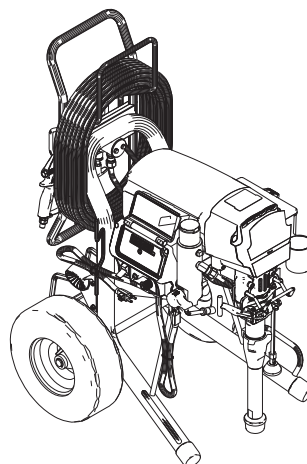
309495
308491
311861
311254



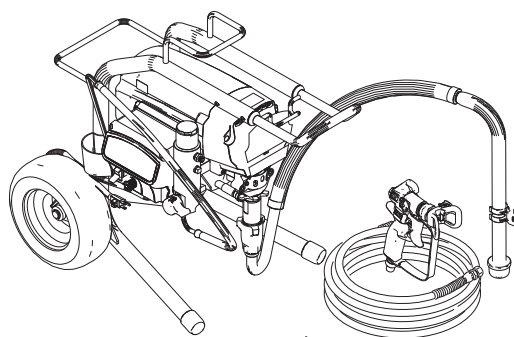
333028
332922



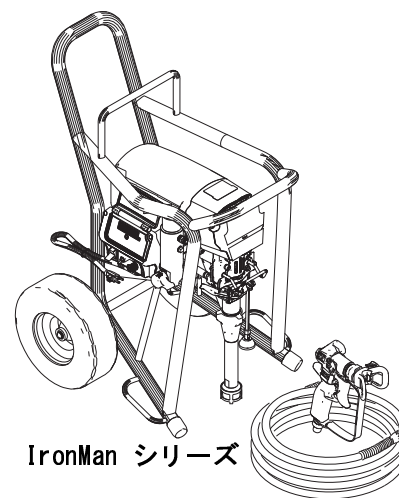
標準 Hi-Boy シリーズ



ProContractor シリーズ



標準 Lo-Boy シリーズ



IronMan シリーズ

ti22882a

目次

モデル	3	高速洗浄	17
UltraMax II, Ultimate Max II モデル:	3	(ProContractor および IronMan モデルのみ)	17
TexSpray モデル:	4	WatchDog™ 保護システム	17
警告	5	(ProContractor および IronMan モデルのみ)	17
コンポーネントの特定	8	ProGuard	18
695 / 795 / 1095 / 1595 / Mark IV / Mark V /		標準モデル	18
Mark VII / Mark X		ProContractor および IronMan モデル	18
標準モデル:	8	ホースリール	19
695 / 795 / 1095 / 1595 Mark IV / Mark V / Mark		(ProContractor モデルのみ)	19
VII / Mark X ProContractor モデル:	9	デジタル追跡システム	20
1095 / 1595 / Mark V IronMan モデル:	10	(ProContractor および IronMan モデルのみ)	20
接地	11	操作メインメニュー	20
電源要件	11	表示単位の変更	20
拡張コード	11	ジョブガロン	20
ペール	12	ライフタイムガロン	20
10/16 アンペアスイッチ	12	2 次メニュー - 保存データ	21
15/20 アンペアスイッチ	12	清掃	22
圧力開放	13	トラブルシューティング	24
セットアップ	14	機械的な / 液体の流れ	24
始動	15	電気系統	27
	15	技術データ	36
スイッチチップの取り付け	16	Graco Standard Warranty	44
スプレー	16		
チップの詰まりの除去	16		

モデル

UltraMax II, Ultimate Max II モデル:

695 UltraMax, 標準, ProContractor, IronMan モデル					
モデル	電圧	標準 Hi-Boy	標準 Lo-Boy	ProContractor	IronMan
16W892	120	✓			
16W893	120		✓		
16W894	120			✓	
826177	120	✓			
826178	120		✓		
826179	120			✓	
16X656	230	✓			
16X657	230	✓			
16X658	120	✓			
16X659	120	✓			
16X660	230	✓			
16X811	120		✓		
16X812	230		✓		
16Y635	230			✓	
16Y637	230			✓	
16Y638	120			✓	
16Y639	230			✓	
795 UltraMax, 標準, ProContractor, IronMan モデル					
16W895	120	✓			
16W896	120			✓	
826180	120	✓			
826181	120			✓	
16X813	230		✓		
16X870	230	✓			
16X871	230	✓			
16X872	120	✓			
16X873	230	✓			
16Y895	230			✓	
16Y896	230			✓	
16Y897	230			✓	
16Y898	120			✓	
16Y899	120			✓	
1095 UltraMax, 標準, ProContractor, IronMan モデル					
16W899	120	✓			
16W900	120			✓	
16W901	120				✓
826182	120	✓			
826183	120			✓	
826184	120				✓
16X874	230	✓			
16X875	230	✓			
16X881	230	✓			
16X882	120	✓			
16Y829	230			✓	
16Y830	230			✓	
16Y831	120			✓	
16Y832	230			✓	
16Y833	120			✓	
16Y869	230				✓
16Y871	230				✓

1595 UltraMax, 標準, ProContractor, IronMan モデル					
モデル	電圧	標準 Hi-Boy	標準 Lo-Boy	ProContractor	IronMan
16W902	120	✓			
16W903	120			✓	
16W907	120				✓
16W936	120	✓			
16W937	120			✓	
16W938	120				✓
826185	120	✓			
826186	120			✓	
826187	120				✓
826188	120	✓			
826189	120			✓	
826190	120				✓

TexSpray モデル :

Mark IV / Mark V / Mark VII / Mark X 標準, ProContractor, IronMan モデル												
モデル番号	モデル	電圧	標準 Hi-Boy	Pro Contractor	IronMan	フレックスプラスガン	青色テクスチャガン	HDインラインテクスチャガン	3/8 インチ x 50 フィート + 1/4 インチ x 3 フィート ホイップ (9.5mm x 15m + 6.4mm x 0.9m ホイップ)	3/8 インチ x 3,048.00 cm + 1/4 インチ x 3 フィート ホイップ (9.5mm x 30m + 6.4mm x 0.9m ホイップ)	3/8 インチ x 1,524.00 cm + 1/4 インチ x 365.76 cm ホイップ (9.5mm x 15m + 3.7m x 0.9m ホイップ)	3/8 インチ x 3,048.00 cm + 1/4 インチ x 365.76 cm ホイップ (9.5mm x 30m + 3.7m x 0.9m ホイップ)
16W897	Mark IV	120	✓			✓			✓			
16W898	Mark IV	120		✓		✓				✓		
16X953	Mark IV	230	✓			✓			✓			
16X954	Mark IV	230	✓			✓			✓			
16X956	Mark IV	230	✓			✓			✓			
16Y892	Mark IV	230		✓		✓				✓		
16Y893	Mark IV	230		✓		✓				✓		
16Y894	Mark IV	230		✓		✓				✓		
16W905	Mark V	120	✓				✓		✓			
16W906	Mark V	120		✓			✓			✓		
16W939	Mark V	120	✓				✓		✓			
16W940	Mark V	120		✓			✓			✓		
16X944	Mark V	230	✓				✓		✓			
16X947	Mark V	120			✓		✓			✓		
16X965	Mark V	230	✓				✓		✓			
16X966	Mark V	120	✓				✓		✓			
16X967	Mark V	230	✓				✓		✓			
16Y533	Mark V	120			✓		✓			✓		
16Y864	Mark V	230		✓			✓			✓		
16Y865	Mark V	230		✓			✓			✓		
16Y866	Mark V	120		✓			✓			✓		
16Y867	Mark V	230		✓			✓			✓		
16Y868	Mark V	120		✓			✓			✓		
16Y872	Mark V	230			✓		✓			✓		
16Y874	Mark V	230			✓		✓			✓		
16Y763	Mark VII	230	✓					✓			✓	
16Y919	Mark VII	230	✓					✓			✓	
16Y920	Mark VII	230		✓				✓				✓
16Y921	Mark VII	230		✓				✓				✓
16W908	Mark X	230	✓					✓		✓		
16X099	Mark X	230		✓				✓				✓
16Y534	Mark X	230	✓					✓		✓		
16Y535	Mark X	230	✓					✓		✓		
16Y536	Mark X	230	✓					✓		✓		
16Y910	Mark X	230		✓				✓				✓
16Y912	Mark X	230		✓				✓				✓
16Y913	Mark X	230		✓				✓				✓

警告

次の警告は、この機器のセットアップ、使用、接地、整備と修理に関するものです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を行い、危険シンボルは手順特有の危険性を知らせます。これらのシンボルが、この取扱説明書の本文に表示された場合、戻ってこれらの警告を参照してください。このセクションにおいてカバーされていない製品固有の危険シンボルおよび警告は、必要に応じて、この取扱説明書の本文に表示される場合があります。

警告

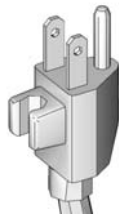


接地

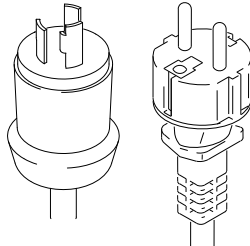
本装置は接地する必要があります。接地とは、電流を逃す配線を設けておくことで、回路短絡が発生した場合の感電の危険性を小さくできます。本製品には、適切な接地プラグの付いた接地線を備えたコードが付属しています。プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付け、接地が行われたアウトレットに接続する必要があります。

- ・ 接地プラグの不適切な設置は電気ショックの危険を招きます。
- ・ このコード及びプラグの修理及び交換が必要な時は、接地線をどちらの平刃端末にも接続しないで下さい。
- ・ 設置線は絶縁された電線で、外側の表面が緑色で、黄色の縞が入るものも入らないものもあります。
- ・ 接地の指示が完全に理解されない場合、又は製品が正しく接地されているかどうか疑問のある場合は、資格を持った電気技師あるいは修理員に問い合わせして下さい。
- ・ 提供されたプラグを改良しないで下さい。コンセントに嵌らない場合には、資格を持った電気技師によって適正なコンセントを設置して下さい。
- ・ 本製品は定格 120V または 230 V の回路で使用されるように製造されており、下図のプラグに類似した接地プラグが付属しています。

120V (米国)



230V



- ・ 製品はプラグと同様の構造のコンセントにのみ接続して下さい。
- ・ 本製品にはアダプタは使用しないで下さい。

拡張コード：

- ・ 本製品には、3 端子の接地付きプラグと、本製品のプラグと接続できる 3 穴の差し込み口のある 3 線式延長コードのみを使用して下さい。
- ・ 延長コードに損傷がないことを確かめてください。延長コードが必要な場合には、製品が必要とする電流を流すことができる、最小 2.5 mm (12 AWG) のコードを使用して下さい。
- ・ 規格が下回るコードの使用は電圧の低下、電力の損失と過熱を招きます。

警告



火災と爆発の危険性

作業場での、溶剤や塗料の気体のような、可燃性の気体は、火災や爆発の原因となることがあります。火災と爆発を防止するために：

- ・ 直火あるいは引火の原因となる煙草、モータ、電気器具等の付近では、可燃性のもの、易燃性のものをスプレーしないで下さい。
- ・ 塗料や溶剤が装置を通ると、静電気が発生する場合があります。塗料や溶剤からの蒸気がある場合、静電気によって火災や爆発が発生する危険があります。静電気放電と火花を防ぐため、ポンプ、ホースアセンブリ、スプレーガン、およびスプレーエリア内やその付近のすべての物体は、適切に接地する必要があります。Graco の導電性、または接地されている高圧エアレス塗料スプレーヤホースを使用してください。
- ・ 静電気の放電を防ぐために、全ての容器及び回収システムが接地されている事を確認して下さい。静電気防止または導電性でない限り、ペールライナーは使用しないでください。
- ・ 接地されているコンセントに接続し、接地されている延長コードを使用してください。3 端子を 2 端子に変換するアダプタは使用しないでください。
- ・ ハロゲン化炭化水素を含むペンキ及び溶剤を使用しないで下さい。
- ・ スプレー作業を行う場所では常に換気を行ってください。操作を行う場所では換気を常に良くしてください。ポンプアセンブリは必ず十分に換気された場所に設置してください。ポンプアセンブリに向かってスプレーしないでください。
- ・ スプレーする場所では煙草を吸わないで下さい。
- ・ スプレーをする場所では、電気のスウィッチ、エンジン、或いは同様の火花を出す様な製品を操作しないで下さい。
- ・ スプレーをする場所は清潔に保ち、ペンキや溶剤の容器、ポロ布、その他の可燃性の物を置かないで下さい。
- ・ スプレーする塗料や溶剤の成分を確認してください。すべての製品安全データシートや塗料、溶剤に付属の容器ラベルをお読みください。塗装剤や溶剤の製造元の安全の手引きに従ってください。
- ・ 消火器具が備えられ、又これが使えるものでなければなりません。
- ・ スプレーヤはスパークを発生させます。可燃性液体を洗浄用に噴霧または使用する場合、スプレーヤを爆発性蒸気から最低 6 m (20 フィート) 離してください。



高圧噴射による皮膚への危険性

高圧の噴射により、皮下に有害物質が入り込み、重傷となる可能性があります。万一肌に付着した場合は、直ちに外科的処理を受けてください。

- ・ 人間もしくは動物に向かってガンやスプレーを発射しないで下さい。
- ・ 手やその他身体の一部を噴射部分に近づけないでください。例えば、身体のいかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。
- ・ ノズルチップガードを常に使用してください。ノズルチップガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。
- ・ グラコのノズル先端をご利用下さい。
- ・ ノズルチップの清掃および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを清掃のために取り外す前に、圧力解放に従って、装置の電源をオフにして圧力を解放してください。
- ・ 装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで装置を放置しないでください。装置を使用しない場合は、電源を切り、圧力解放に従って、装置の電源をオフにしてください。
- ・ 損傷の兆候がある部品がないか確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。
- ・ このシステムは 22.7 MPa (227 bar、3300 psi) を生成できます。最低 227 MPa (22.7 bar、3300 psi) の定格を持つ Graco 製の交換部品やアクセサリを使用してください。
- ・ スプレー作業を中断するときは、引き金のロックを掛けてください。引き金のロックが正しく機能しているか確認してください。
- ・ ユニットを操作する前に、全ての接続が確実にされている事を確認して下さい。
- ・ 装置を手早く停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。

警告



装置誤用の危険性

装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。

- ・ ベンキの吹き付けの際は、常に適切な手袋、目の保護具、呼吸装置或いはマスクを着用して下さい。
- ・ 子供が近くにいる場所では操作やスプレーを行わないでください。装置は常に、子供が触れることのない場所に保管してください。
- ・ 不安定な場所の上に置いたり、部品を伸ばしたりしないでください。常にしっかりとした足場を保ち、バランスをとってください。
- ・ 緊張を保ち、取りかかっている作業から目を離さないで下さい。
- ・ 装置の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで装置を放置しないでください。装置を使用しない場合は、電源を切り、圧力解放に従って、装置の電源をオフにしてください。
- ・ 疲労しているとき、薬物を服用した状態、または飲酒状態で装置を操作しないでください。
- ・ ホースをよじれさせたり、曲げ過ぎないで下さい。
- ・ グラコが特定したものを超過する気温及び圧力にホースをさらさないで下さい。
- ・ 器具を引っぱたり、持ち上げたりするためにホースに力を加えないで下さい。
- ・ 7.6 m (25 フィート) 未満のホースは使用しないでください。
- ・ 装置を改造しないでください。装置を改造すると、機関の承認を無効にし、安全上の問題が生じる場合があります。
- ・ すべての装置が、それらを使用する環境用に格付けおよび承認されていること確認してください。



電気ショックの危険性

この装置は、接地する必要があります。不適切な接地、設置またはシステムの使用により感電する可能性があります。



- ・ 装置の修理を行う前にメイン電源のスイッチをOFFにし、電源コードを抜きます。
- ・ 接地端子付きのコンセントのみを使用するようにしてください。
- ・ 3 芯の延長コードのみを使用するようにしてください。
- ・ 接地線の先端部が電源コードおよび延長コードに直接導通していることを確認してください。
- ・ を雨にさらさないでください。室内に保管してください。
- ・ 大容量のコンデンサを含む装置のサービスを行う際には、電源コードを抜いてから、5 分間待ってください。



加圧状態のアルミ合金部品使用の危険性

加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、致死や重傷、物的損害をもたらす可能性があります。

- ・ 1, 1, 1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素系溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。
- ・ その他の液体の多くは、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、原料供給元にお問い合わせください。



可動部品の危険性

可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする可能性があります。



- ・ 可動部品に近づかないでください。
- ・ 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないでください。
- ・ 圧力がかかった機器は、警告なしに起動することがあります。装置を点検、移動、または整備する前に、圧力開放に従い、すべての電源の接続を外してください。



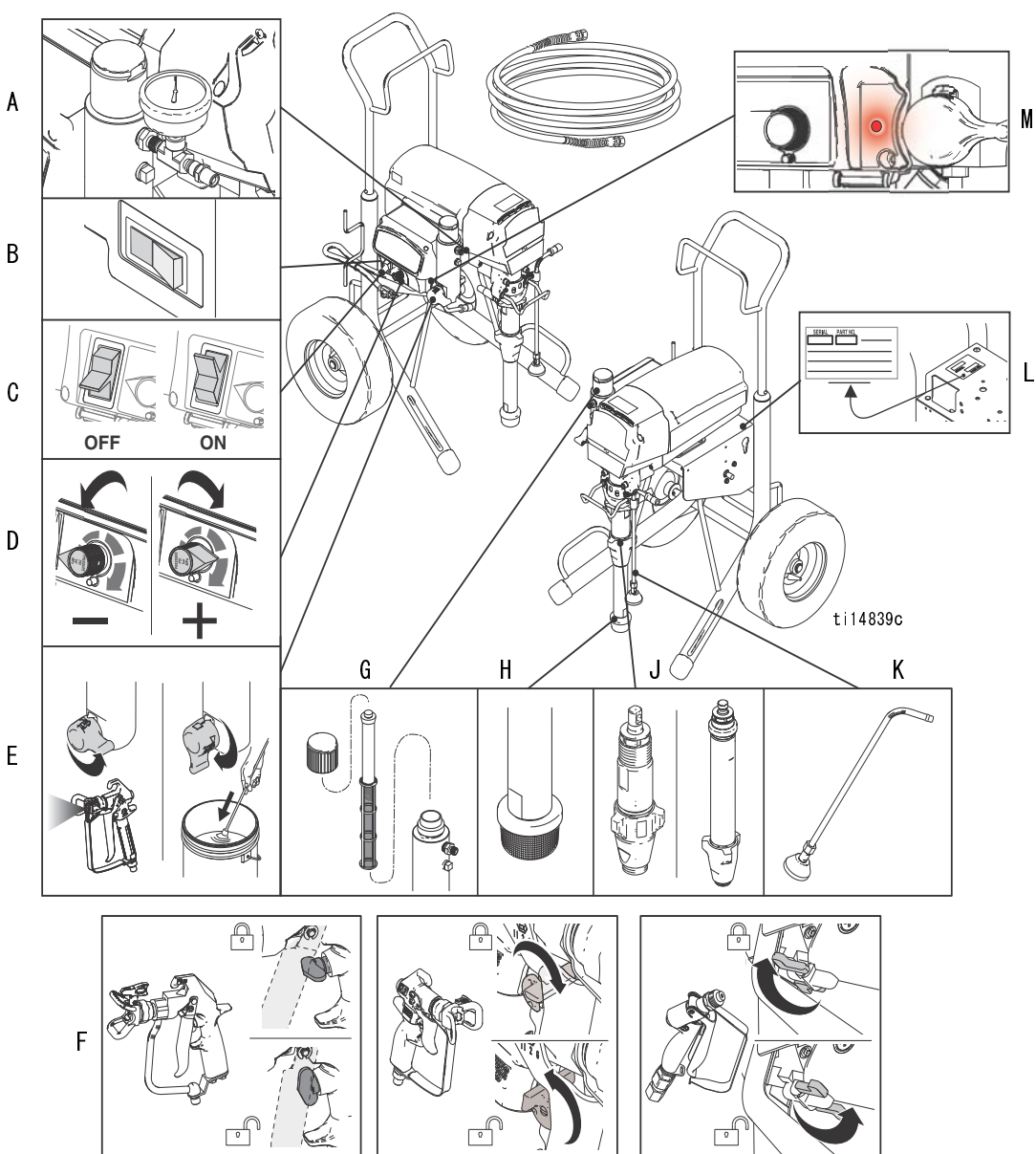
作業者の安全保護具

作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。この保護具は以下のものを含みますが、必ずしもこれに限定はされません。

- ・ 保護めがねと耳栓。
- ・ 液体と溶剤の製造元が推奨する呼吸マスク、保護服、および手袋。

コンポーネントの特定

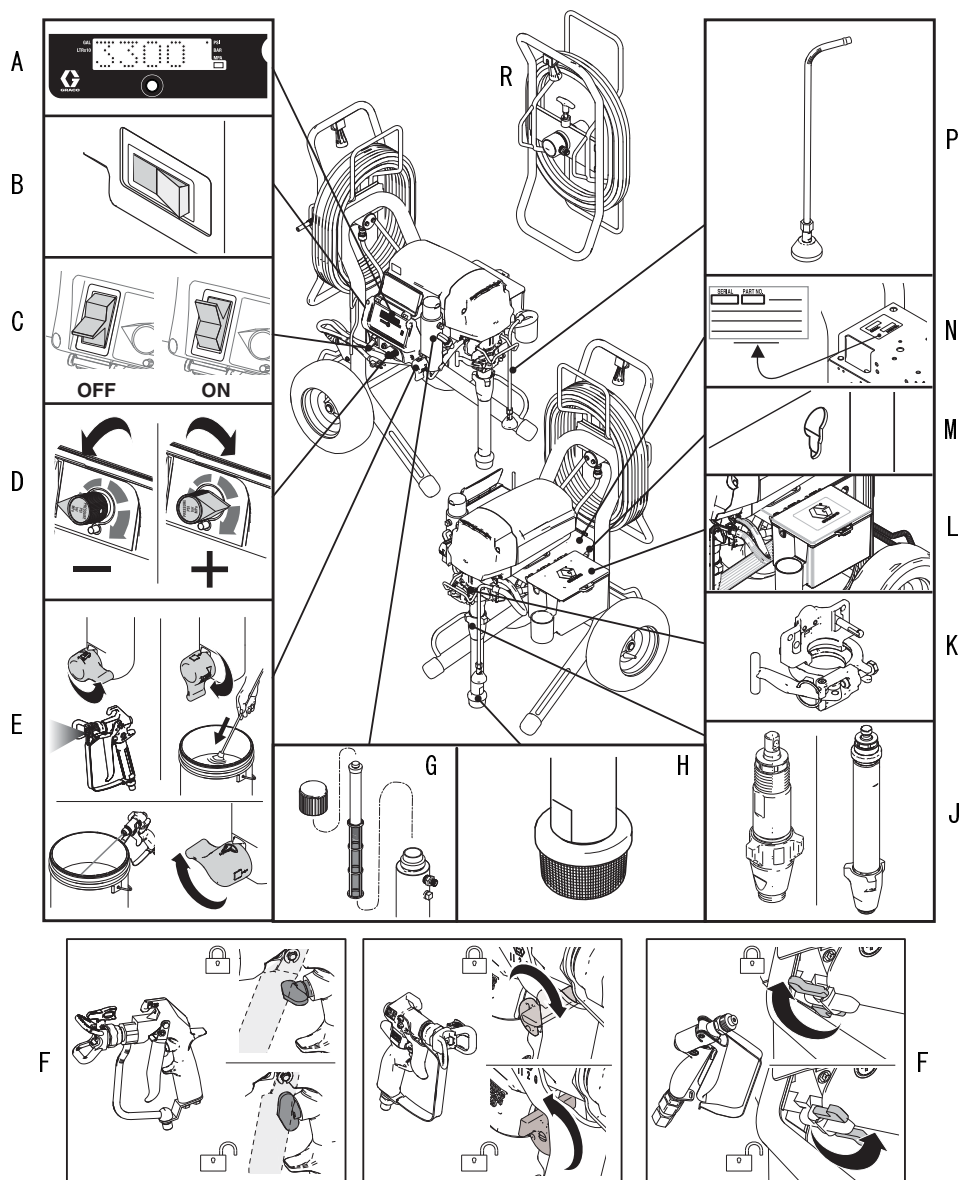
695 / 795 / 1095 / 1595 / Mark IV / Mark V / Mark VII / Mark X
標準モデル :



A	圧力ゲージ（すべてのモデルにあるわけではありません）
B	アンペアスイッチ（すべてのモデルにあるわけではありません）
C	ON/OFF スイッチ
D	圧力コントロール
E	プライム / スプレーバルブ

F	引き金ロック
G	フィルタ
H	濾過器
J	ポンプ
K	ドレンチューブ
L	モデル / シリアル タグ
M	ProGuard ステータスライト

695 / 795 / 1095 / 1595 Mark IV / Mark V / Mark VII / Mark X
ProContractor モデル :

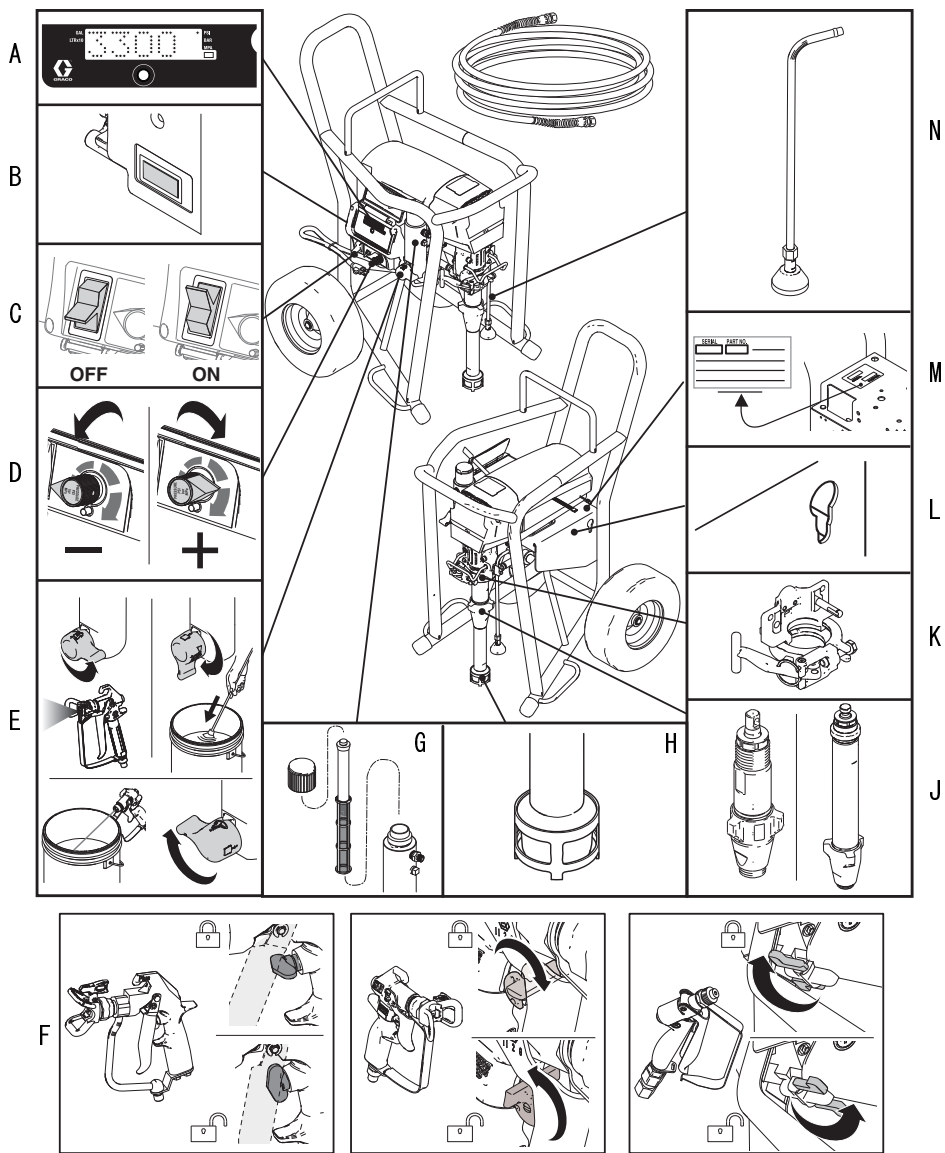


ti18239b

A	スマートコントロール 3.0 ディスプレイ
B	アンペアスイッチ (すべてのモデルにあるわけではありません)
C	ON/OFF スイッチ
D	圧力コントロール
E	スプレー / プライム / 高速洗浄
F	引き金ロック
G	フィルタ

H	濾過器
J	ポンプ
K	ProConnect™ II
L	工具箱
M	ロッドプル機能
N	装置 / シリアル タグ
P	ドレンチューブ
R	QuikReel

1095 / 1595 / Mark V IronMan モデル :







ti 22935a

A	スマートコントロール 3.0 ディスプレイ
B	アンペアスイッチ (すべてのモデルにあるわけではではありません)
C	ON/OFF スイッチ
D	圧力コントロール
E	スプレー / プライム / 高速洗浄
F	引き金ロック

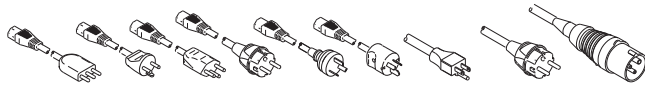
G	フィルタ
H	濾過器
J	ポンプ
K	ProConnect™ II
L	ロッドプル機能
M	装置 / シリアル タグ
N	ドレンチューブ

接地

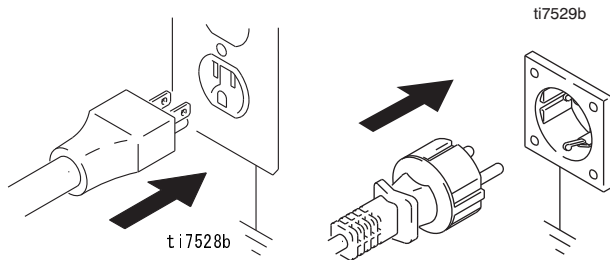
						
---	---	---	---	--	--	--

静電気スパークや感電による危険性を抑えるため、装置は必ず接地するようにしてください。電気または静電気によるスパークによって、引火性や爆発性のガスが発生する可能性があります。適切に接地を行わないと、感電をもたらす可能性があります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。

スプレーヤのコードは、適切な接地接点のある 接地ワイヤ付きです。電気コードの接地接触が壊れている場合はスプレーを使用しないでください。



プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付け、接地が行われたアウトレットに接続する必要があります。



プラグは改造しないでください。プラグがアウトレットに合わない場合は、資格を有する電気工事士に取り付けを行わせるようにして下さいアダプタは使用しないこと。

電源要件

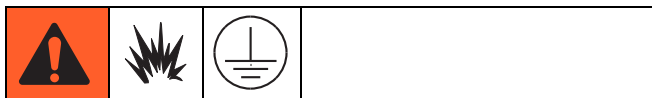
- ・ 100-120V 装置は 100-120 VAC、50/60 HZ、15A、単相の電源を必要とします。
- ・ 230V 装置は 220-240 VAC、50/60 HZ、10A-16A の電源を必要とします。

拡張コード

破損のない接地接点付きの拡張コードを使用して下さい。

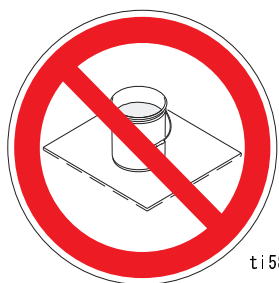
延長コードが必要な場合は、3 線 2.5 mm² (12 AWG) 以上のコードを使用してください。より長いコードやより高いゲージのコードを使用すると、スプレーヤの性能が低下します。

ペール



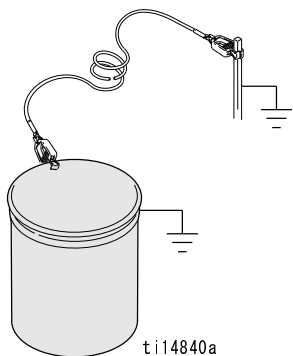
溶剤および油性液体：ご使用の地域の法令に従って下さい。コンクリートのような接地された表面に置かれた導電性金属缶のみを使用してください。

紙や厚紙など接地連続性を遮断するような非導電性の面に缶を置かないで下さい。



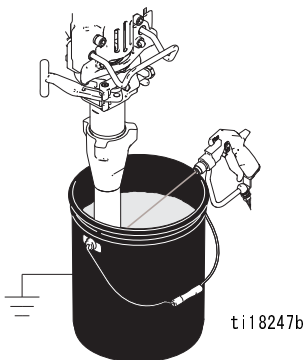
ti5850b

金属缶の接地：一方の端を缶に、他方の端を大地アースにクランプし、接地ワイヤーを缶に接続します。



ti14840a

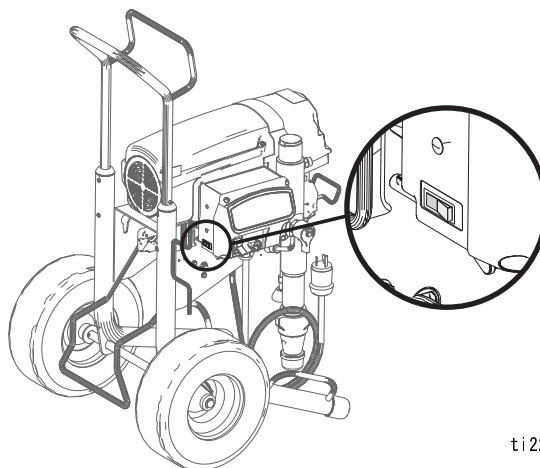
洗浄または圧力開放時に接地の電氣的導通を確保するには、スプレーガンの金属部分を接地された容器の側面にしっかりと接触させます。ガンの引き金を引きます。



ti18247b

10/16 アンペアスイッチ

(Mark VII および Mark X 装置)

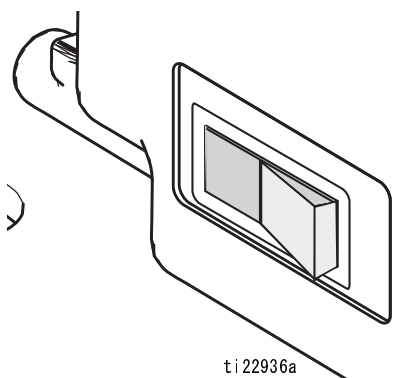


ti22874a

回路定格に基づいて 10A または 16A の設定を選択します。

15/20 アンペアスイッチ

(120V 1595 および Mark V 装置)



ti22936a

回路定格に基づいて 15A または 20A の設定を選択します。

圧力開放

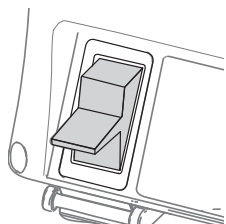


このシンボルが表示されるたびに、圧力開放の
手順に従ってください。

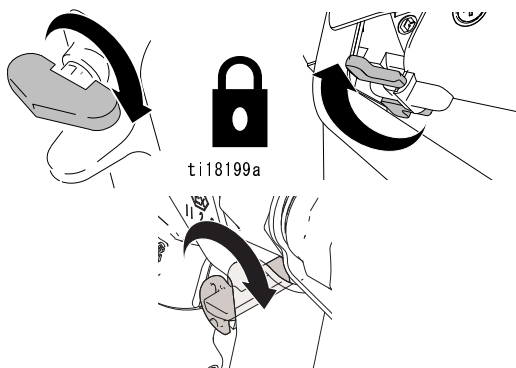


本装置は、圧力が手動で開放されるまでは、加圧状態が続きます。皮膚の貫通などの加圧状態の液体、液体の飛散、および可動部品から生じる重大な怪我を避けるには、スプレー停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放に従ってください。電源をOFFにします。

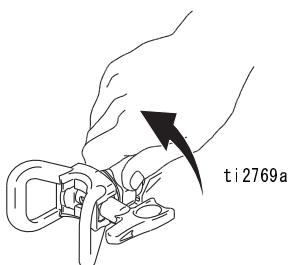
1. 電源スイッチをオフにします。電源が消えるまで7秒間待ちます。



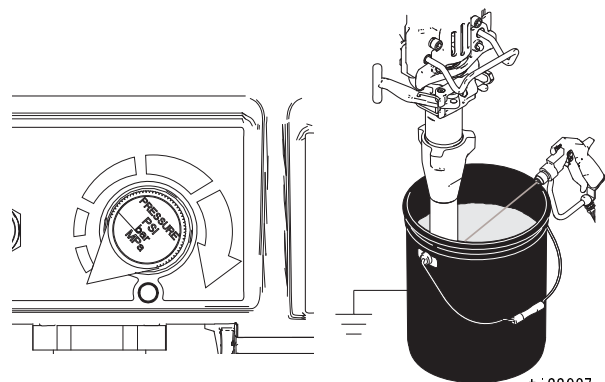
2. 引き金をロックします。



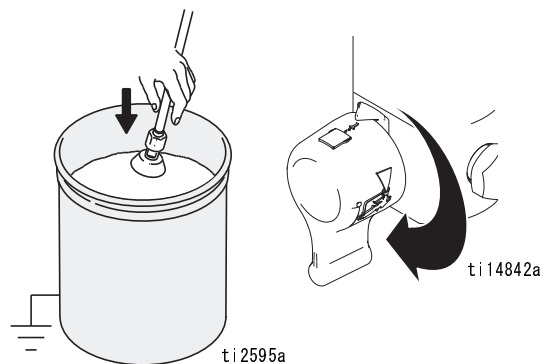
3. ガードおよび SwitchTip を取り外します。



4. 圧力を最低設定にします。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。

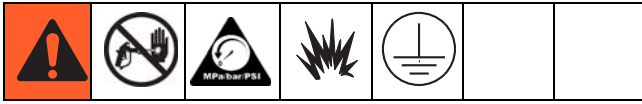


5. 缶に排水チューブを入れます。プライムバルブを「ドレン」の位置に下げます。スプレーを再開する準備ができるまで、プライムバルブをドレン位置のままにしておいてください。

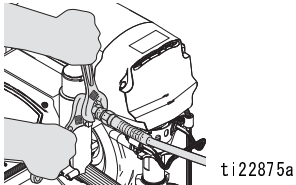


6. 上記の手順を行った後でもスプレーチップまたはホースが詰まっていると感じる場合、または圧力が十分に抜け切っていないと思われる場合には、チップガードのナットかホース口金を非常にゆっくりと緩めて、液圧を徐々に逃がします。ホースまたはチップの詰まりを除去してください。

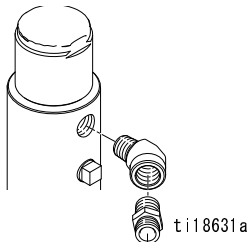
セットアップ



1. ProContractor を除くすべてのスプレーヤ：スプレーヤにグラコエアレスホースを接続します。しっかりと締めます。

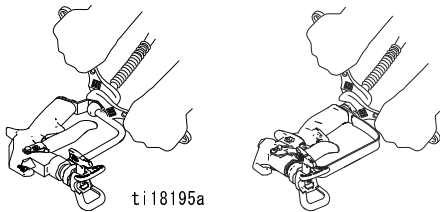


オプションのホッパーを使用する場合は、ニップルフィッティングをフィルタから取り除いてください。(工具箱の) 45° エルボーをフィルタに取り付け、ニップルフィッティングをエルボーに取り付けます。次に、ホースをニップルに接続します。

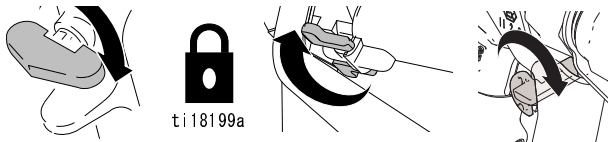


注：ホースを容易に取り付けられるように、ニップルフィッティングを曲げてホッパーから離すことを確認します。

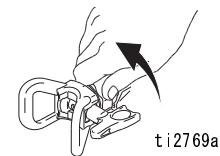
2. ガンおよび（適切な場合は）ホイップホースを、ホースのもう一方の端に接続します。しっかりと締めます。



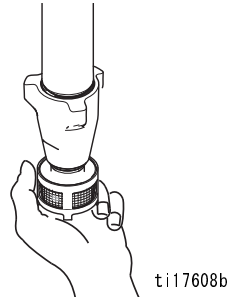
3. 引き金をロックします。



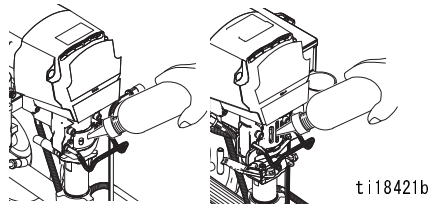
4. チップガードを取り外します。



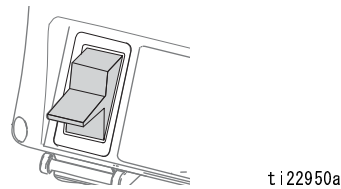
5. インレットストレーナに汚れ、詰まりがないか点検します。



6. パッキンの早期磨耗を防ぐため、スプレーする毎にスロートパッキンナットに Graco TSL を満たします。これはスプレーする毎に行います。

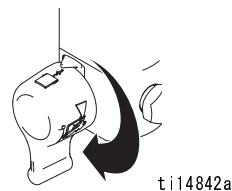


7. 電源を OFF にします。

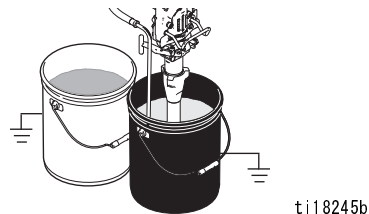


8. 正しく接地されたコンセントに電源コードを差し込みます。

9. プライムバルブを「ドレン」の位置に下げます。



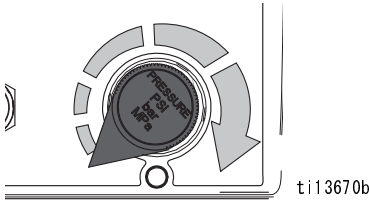
10. 洗浄用液体で部分的に満たされた接地済み金属缶にポンプを入れます。接地ワイヤーを缶および大地アースに接続します。始動の手順 1 - 5 を実施し、出荷時にスプレーヤに注入してあるストレージオイルを流し出します。水性塗料を洗浄する場合は水を使用し、油性塗料およびストレージオイルの場合は、ミネラルスピリッツを使用します。



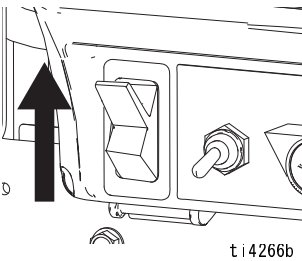
始動



1. 圧力開放の手順、13 ページを実行してください。
2. 圧力コントロールを 最低圧力にします。



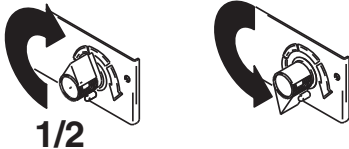
3. 電源をオンにします。



4. 圧力コントロールを 1/2 回転回してモータを始動し、液体をドレンチューブで 15 秒間循環させます。圧力を下げます。

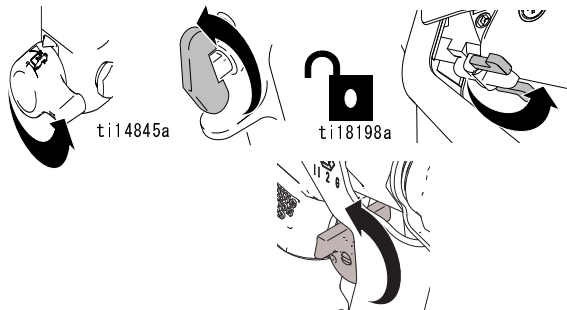


15sec.

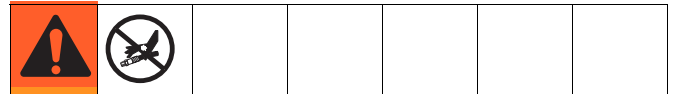


1/2

5. プライムバルブを前方に回して「スプレー」位置にします。引き金のロックを解除します。



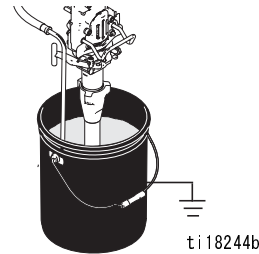
6. ガンを接地した金属製洗浄用容器に押し付けます。ガンの引き金を引き、液圧コントロールを 1/2 回転回します。1 分間洗浄します。



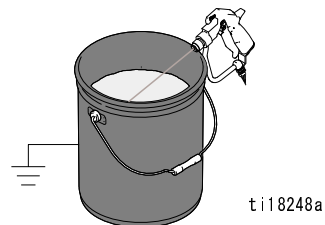
高圧の噴射により、皮下に有害物質が入り込み、重傷となる可能性があります。手や雑巾で漏れを止めようとししないでください。

7. 漏れがないか点検します。漏れが生じている場合には、圧力開放の手順、13 ページを実行してください。取り付け金具をしっかり締めます。始動の手順 1 - 5 を実施します。漏れがなければ、手順 7 に進みます。

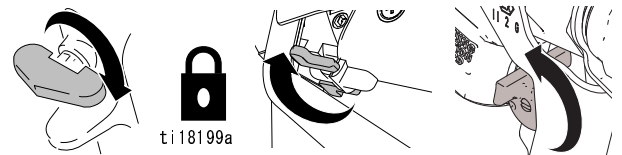
8. 塗料缶の中にポンプを入れます。



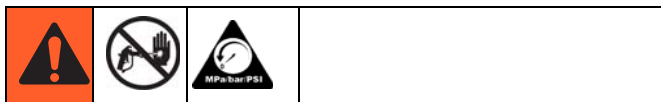
9. 塗料が出てくるまで洗浄用容器に向けてガンの引き金を引きます。ガンを塗料缶へ向け、20 秒間引き金を引きます。



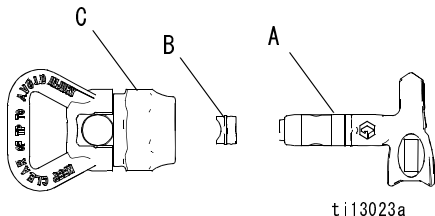
10. 引き金をロックします。チップおよびガードを組み立てます。次のページの説明を参照してください。



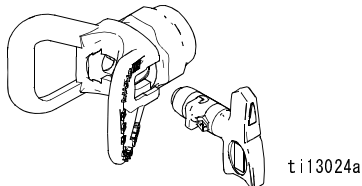
スイッチチップの取り付け



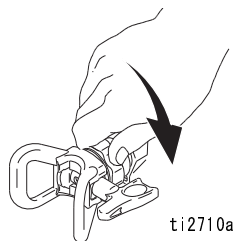
1. 圧力開放の手順、13 ページを実行してください。
2. スプレーチップ (A) を使用して、OneSeal™ (B) を guard (C) に挿入します。



3. スイッチチップを挿入します。

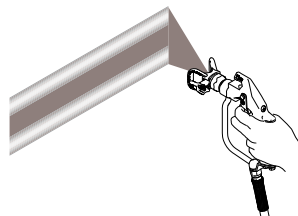


4. ネジでアセンブリをガンに取り付けます。しっかり締めます。

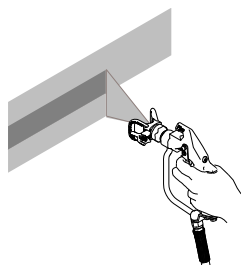


スプレー

1. テストパターンをスプレーします。ヘビーエッジを除去するため圧力を上げます。圧力を調整してもヘビーエッジが除去されない場合は小さいサイズのチップを使用して下さい。



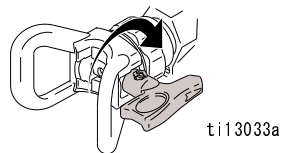
2. 表面から 10 ~ 12 インチ (25 ~ 30 cm) 離して、ガンを垂直に持ちます。前後にスプレーします。50% オーバーラップさせます。移動した後、ガンの引き金を引き、停止する前に放します。



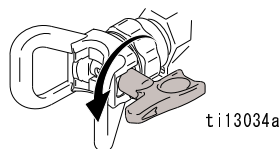
チップの詰まりの除去

<p>高圧噴射による皮膚への危険性 ガンを 手やタオル等に向けないでください。</p>			

1. 引き金を解放し、次に引き金をロックします。SwitchTip を回転させます引き金のロックを解除します。ガンの引き金を引いて詰まりを除去します。



2. 引き金をロックします。スイッチを元の位置に戻しますトリガーのロックを解除して噴射を続行します。

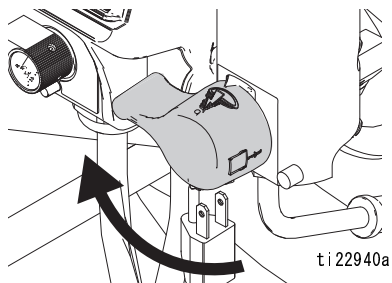


高速洗浄

(ProContractor および IronMan モデルのみ)

加速した速度でホースとガン洗浄するには、次の手順を実行します。

1. 清掃、22 ページに従って、手順 1 ~ 3 を行います。
2. ガンの引き金を引いて、プライムバルブを「ドレン」の位置に下げ、次に「高速洗浄」に合わせます。



3. 液体がきれいになるまで洗浄し続けます。

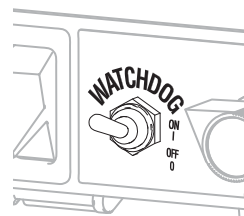
WatchDog™ 保護システム

(ProContractor および IronMan モデルのみ)

マテリアルの缶が空の場合、ポンプは自動停止します。

変更をアクティブにするには：

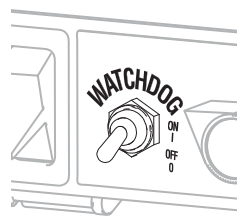
1. 始動を実行します。



2. WatchDog スイッチを ON にすると WD ON が表示されます。EMPTY が表示されるか、またはフラッシュし WatchDog 保護システムによりマテリアル缶が空であることが検出されるとポンプが停止します。



3. WatchDog スイッチを OFF にします。マテリアルを追加するか、またはスプレーヤを再プライムします。ポンプスイッチを OFF にした後 ON にし、WatchDog 保護システムをリセットします。再度 WatchDog スイッチを ON にしてマテリアルのレベルをモニタします。






ProGuard

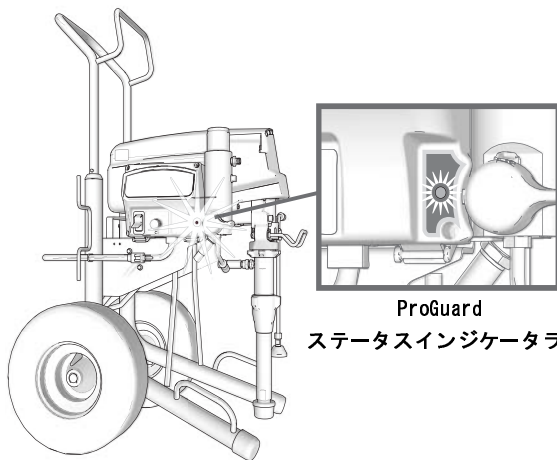
このスプレーヤは、高 / 低の電圧に対して自己保護の機能があります。スプレーヤを低すぎるまたは高すぎる電圧の電源に接続すると、動作を停止します。

標準モデル

標準モデルは、ProGuard ステータスインジケータライトを備えています。このライトには、3 つの異なる操作状態があります。ON、点滅、および OFF。

エラーコード	定義
	ライトが ON 装置の電源が入り、通常の動作状態にあります。
	ライトが点滅 スプレーヤのための電圧供給が低すぎるか高すぎる状態にあり、正常な電源に接続されるまで動作しません。
	ライトが OFF スプレーヤに電源が入っていないか、電圧供給以外の別のエラーが発生していません。

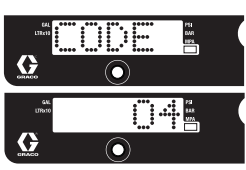
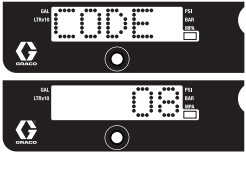
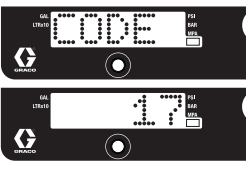
トラブルシューティング (24 ページ) を参照して、エラーの原因を見つけてください。



ProGuard
ステータスインジケータライト



ProContractor および IronMan モデル

3 つのエラーコードの 1 つが表示される：

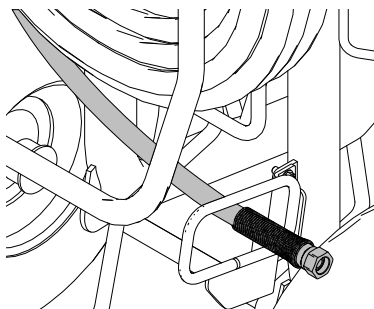
エラーコード	定義
	複数の入力電圧サージが検出されました - 機器の損傷を防ぐために、スプレーヤの電源コードのプラグを抜き、正常な電圧の電源を見つめます。このエラーの一般的な原因は、スプレーヤの定格電圧よりも高い回路への接続です。正常な電圧を供給する回路を見つけます。
	スプレーヤが動作するには、入力電圧が低すぎます - 機器の損傷を防ぐために、スプレーヤの電源コードのプラグを抜き、正常な電圧の電源を見つめます。このエラーの一般的な原因は、同じ回路に別の機器が接続されているか、負荷のかかった発電機が頻繁にオン / オフを繰り返すことです。スプレーヤが専用で使用できる回路を見つけます。
	スプレーヤが誤った電圧に接続されている - スプレーヤの電源コードのプラグを抜き、正常な電圧の電源を見つめます。このエラーの一般的な原因は、GFCI ボックスが誤った電圧の仕様 (240V 対 120V) で配線されていることです。スプレーヤに損傷は発生していません。正常な電圧の回路を見つければ、スプレーヤは正しく動作します。

ホースリール

(ProContractor モデルのみ)

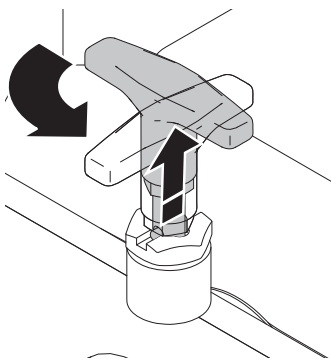
 	<p>可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする可能性があります。部品を動かす際の損傷を防ぐために、ホースを巻き取る間にホースリールから自分の頭を離すようにしてください。</p>
---	--

1. ホースがホースガイドを通っていることを確認します。



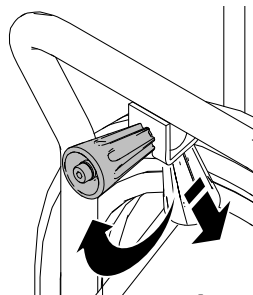
ti18241a

2. ピボットロックを持ち上げて90°回転させてホースリールのロックを解除します。ホースを引っ張って、ホースリールから取り外します。

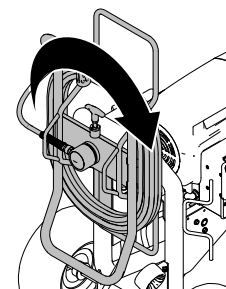


ti13501c

3. リールのハンドルを引き上げ、時計回りに回してホースを巻き取ります。

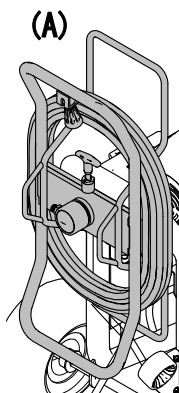


ti13503b

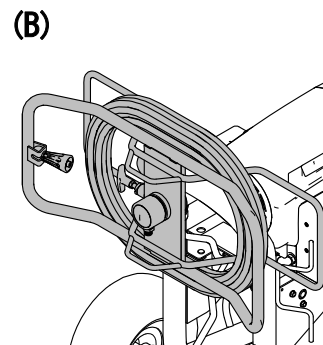


ti13502b

注ホースリールは、2つの位置でロックすることができます。使用 (A) および保管 (B)。



(A)



(B)

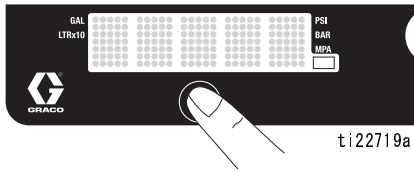
ti13563b

デジタル追跡システム

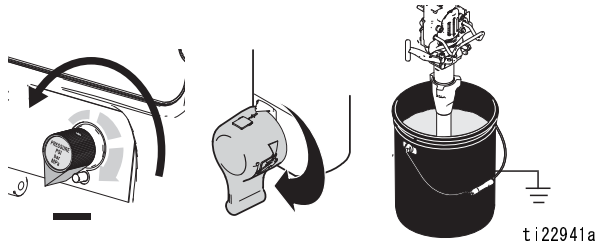
(ProContractor および IronMan モデルのみ)

操作メインメニュー

短時間押しすると、次の画面に移動します。単位の変更またはデータのリセットを行うには、(5 秒間) 押し続けます。



1. 圧力を最低設定にします。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。プライムバルブを「ドレン」の位置に下げます。

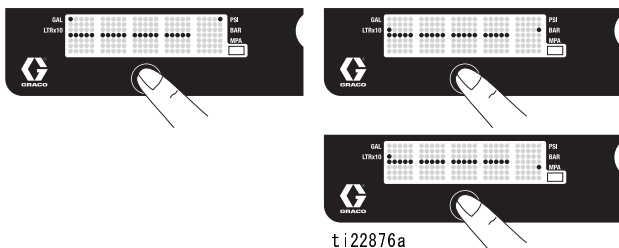


2. 電源を ON にします。圧力ディスプレイが表示されます。圧力が 1,4 MPa (14bar、200 psi) より低くない限り、計器盤は表示されません。



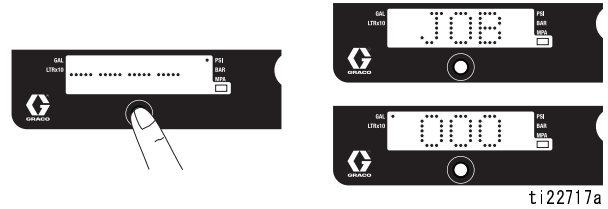
表示単位の変更

DTS ボタンを 5 秒間押し続け、圧力単位 (MPa、bar、psi) を希望の単位に変更します。bar または Mpa を選択すると、ガロンからリットル x 10に変更されます。表示単位を変更するには、DTS のモードが圧力表示モードになっており、かつ圧力がゼロである必要があります。



ジョブガロン

1. ジョブガロン (またはリットル x 10) に移動するには、DTS ボタンを短時間押します。



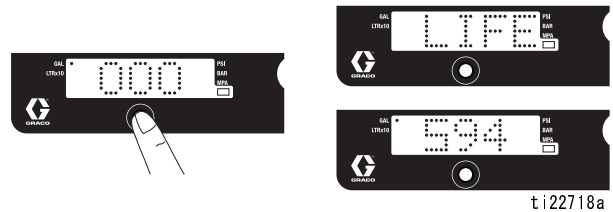
注「ジョブ」がスクロールされて、Mark VII and Mark X 向けの 400 psi (28 bar, 2.8 MPa) 以上でスプレーするガロン数が表示されます。他のモデルは、1000 psi (70 bar, 7 MPa) です。

2. 長押しすると、ゼロにリセットします。

ライフタイムガロン

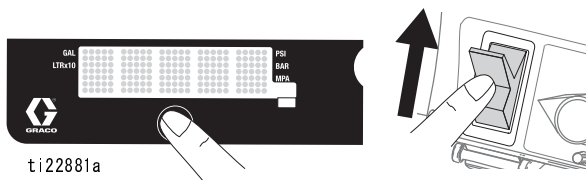
1. ライフタイムガロン (またはリットル x 10) に移動するには、DTS ボタンを短時間押します。

注: 「ライフ」が短くスクロールされて、Mark VII and Mark X 向けの 2.8 MPa (28 bar, 400 psi) 以上でスプレーするガロン数が表示されます。他のモデルは、7 MPa (70 bar, 1000 psi) です。



2 次メニュー - 保存データ

1. 圧力開放が既に実施されていない場合は、圧力開放手順 1 ~ 4 を実行します。
2. DTS ボタンを押した状態で電源スイッチを ON にします。



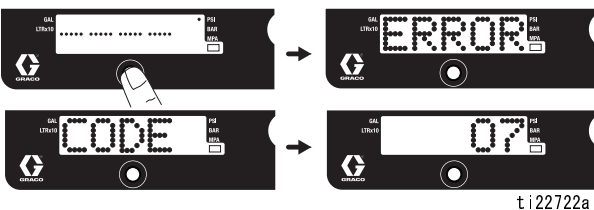
3. 「シリアル番号」がスクロールされて、シリアル番号（例。00001）が表示されます。



4. DTS ボタンを短時間押すと、「モーター時間」がスクロールされて、モーター実行合計時間が表示されます。



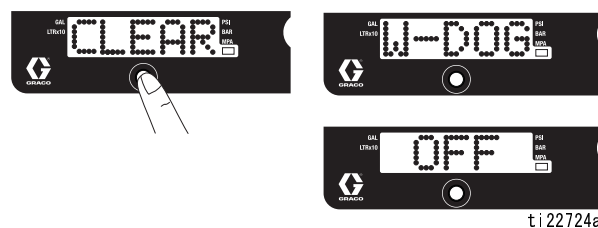
5. DTS ボタンを短時間押します。「ラストコード」がスクロールされて、ラストコードが表示されます。例。E=07（修理マニュアルを参照してください）。



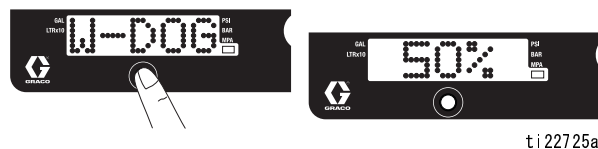
6. DTS ボタンを長押しすると、コードをゼロにします。



7. DTS ボタンを短時間押します。W-DOG という文字がスクロールされた後、Watchdog スイッチがオフの場合、オフが表示されます。Watchdog スイッチがオンの場合、オンが表示されます。



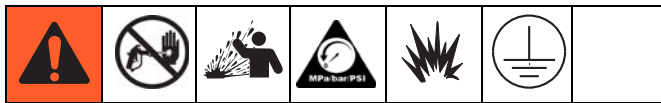
8. DTS ボタンを（8 秒間）押したままにし、WatchDog トリガ % メニューに移動します DTS ボタンを押し続けると、現在のスプレー圧力の 30、40、50 または 60% でトリガするよう WatchDog を設定することができます。希望の % が表示されたら DTS ボタンを放します。デフォルトは 50% です。



9. SOFTWARE REV に移動するには、ボタンを短時間押します。
10. DTS ボタンを短時間押します。「モーター ID 抵抗器」がスクロールされて、モデルコード番号が表示されます。（以下を参照してください）。

モーター ID 番号	モデル
0	695
2	795 / Mark IV
4	1095 / 230V Mark V
6	1595 / 120V Mark V / MARK VII
10	Mark X

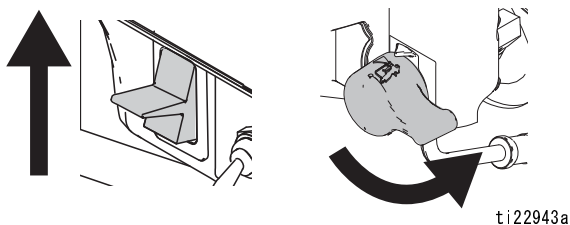
清掃



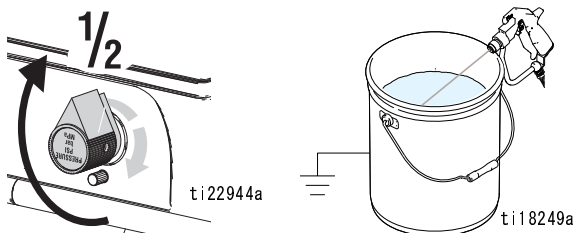
1. 圧力開放の手順 1 - 4 を実行してください (13 ページ)。ガンからチップガードを取り除きます。

注：水性塗料には水を使用し、油性塗料には石油スピリットまたはメーカーが推奨する他の溶液を使用します。

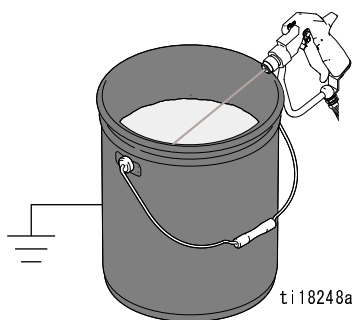
2. 電源をオンにします。プライムバルブを前方に回して「スプレー」位置にします。



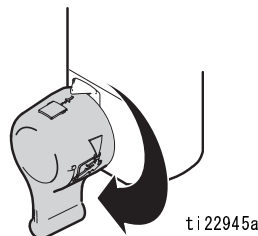
3. 圧力コントロールを 1/2 回転回します。ガンを缶に当てます。引き金のロックを解除します。洗浄液が出てくるまでガンの引き金を引きます。



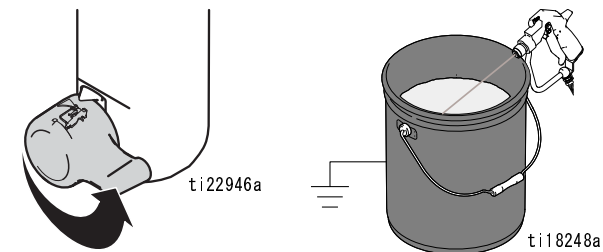
4. ガンを廃液缶に移動し、ガンを容器に接触させ、システムを完全に洗浄します。引き金を解放し、次に引き金をロックします。



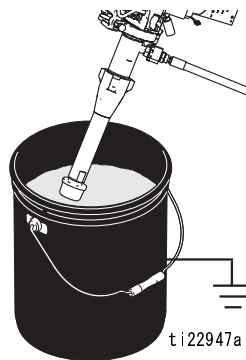
5. プライムバルブを「ドレン」位置まで下げて、洗浄液が清浄に見えるまで洗浄液を循環させます。



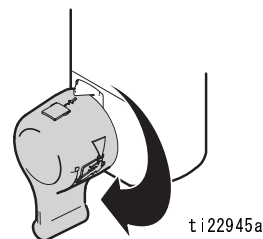
6. プライムバルブを前方に回して「スプレー」位置にします。洗浄用容器に向けてガンの引き金を引き、ホース内の液体を排出させます。



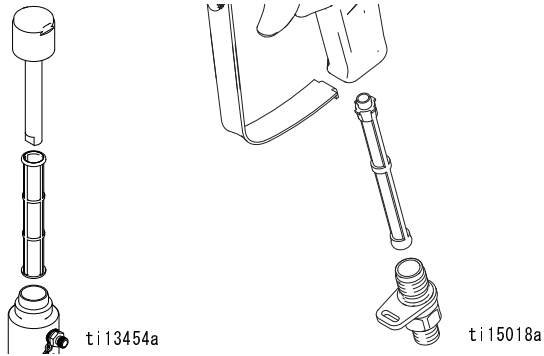
7. フラッシング液上にポンプを引き上げ、スプレーヤを 15 ~ 30 秒間噴射して液体を排出します。電源を OFF にします。



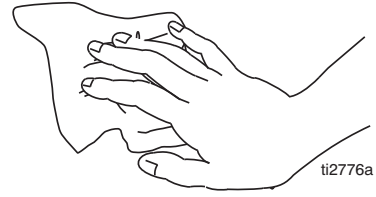
8. プライムバルブを「ドレン」位置に下げます。スプレーヤの電源コードを抜きます。



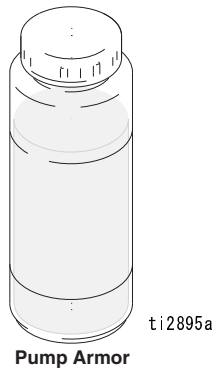
9. フィルタが装着されている場合は、ガンおよびスプレーヤから取り外します。清掃し、点検します。フィルタを取り付けます。



11. スプレーヤ、ホースおよびガンを水または石油スピリットを染み込ませた雑巾で拭きます。



10. 水で洗浄した場合は、石油スピリットで再洗浄、またはポンプ外装を再洗浄して保護コーティングを残し、凍結や腐食を防ぎます。



Pump Armor

トラブルシューティング

機械的な / 液体の流れ



圧力開放の手順、13 ページを実行してください。

故障内容	点検すべき点 問題がなければ次のチェックに進む	操作の選択 問題があれば、この欄を参照
ディスプレイ装備の装置： コード XX が表示されます。 ディスプレイなしの装置： ProGuard ステータスライトが点滅するか、またはライトが消灯して、スプレーヤに電力があることを示します。	故障しています。	27 ページの表から故障の解決法を決定します。
ポンプの出力が低い。	スプレーチップが磨耗しています。	圧力開放 (13 ページ) を実行し、チップを交換します。別冊のガンまたはチップの説明書を参照してください。
	スプレーチップが詰まっています。	圧力を開放します。スプレーチップを点検し、クリーニングします。
	塗料の供給。	リプライムポンプを再び満たします。
	取り入れストレーナが詰まっています。	取り外して拭き取り、再び設置します。
	取り入れバルブボールとピストンボールが適格に配置されていません。	取り入れバルブを取り外し拭きますボールおよびシートに切り傷がないかを点検します。必要に応じて交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。塗料は使用する前にこして、ポンプを詰まらせる粒子を取り除きます。
	液体フィルタ、チップフィルタ、またはチップが詰まっているか汚れています。	フィルタを清掃します。取扱説明書を参照してください。
	プライムバルブに漏れがある。	圧力を開放します。プライムバルブを修理します。
	ガンの引き金が開放されている時にポンプが動作し続けられないことを確認します。(プライムバルブに漏れがない。)	ポンプを修理します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	スロートパッキングナットの周りでの漏れは磨耗または損傷したパッキンを意味します。	パッキンを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。さらにピストンバルブシートに固まった塗料または切れ目が無いか見て、必要であれば交換します。パッキングナット / ウェットカップを締めます。

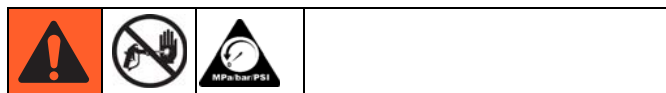
故障内容	点検すべき点 問題がなければ次のチェックに進む	操作の選択 問題があれば、この欄を参照
ポンプの出力が低い。	ポンプロッドの損傷。	ポンプを修理します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	低いストール圧。	圧力コントロールノブを時計の針が回る方向に十分回します。圧力コントロールノブが適格に設置され、時計の針が回る方向に確実に回るようにします。問題が解決しない場合は、圧力トランスデューサを交換します。
	ピストンパッキングが磨耗または損傷している。	パッキングを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	ポンプの O リングが磨耗または損傷している。	O リングを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	吸入バルブボールが材料で詰まっている。	インテークバルブを洗浄します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力を上げます。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	厚い材料使用時のホースの大幅な圧力低下。	大きな直径のホースを使用するかまたはホース長を短くするか、またはその両方を行います。
	アンプスイッチ (10/16 または 15/20) が低い設定になっていないかを確認します。回路が高い設定を供給できるか確認します。	16A または 20A の設定に切り替えます。16A または 20A を供給する回路に変更します。負荷の少ない回路に変更します。
モータは作動しますがポンプが打ちません。	置換ポンプピンの損傷または欠損。ポンプの取扱説明書を参照してください。	欠損している場合は、ポンプピンを交換します。リテーナスプリングが完全に接続ロッドの周囲の溝の中にあることを確認します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	接続ロッドアセンブリの損傷。ポンプの取扱説明書を参照してください。	接続ロッドアセンブリを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	ギアまたはドライブハウジングの損傷。	ドライブハウジングアセンブリおよびギアに損傷がないかを点検し、必要な場合は交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
スロートパッキンナットへ過度の塗料が漏れる。	スロートパッキンナットが緩んでいます。	スロートパッキンナットスペーサを外します。漏れが止まる程度までスロートパッキンナットを締めます。
	スロートパッキンナットが磨耗または損傷している。	パッキングを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	置換ロッドが磨耗または損傷している。	ロッドを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。

故障内容	点検すべき点 問題がなければ次のチェックに進む	操作の選択 問題があれば、この欄を参照
ガンから液体が出ている。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。プライミング中にできるだけゆっくりとポンプを回転させます。
	チップの一部が詰まっている。	チップを除去します。取扱説明書を参照してください。
	供給する液が少ないか、または空になっている。	液体供給を再充填します。ポンプをプライムします。ポンプの取扱説明書を参照してください。液供給の点検回数を増やし、空の状態のポンプを運転しないようにします。
ポンプのプライムが困難。	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。プライミング中にできるだけゆっくりとポンプを回転させます。
	吸入バルブに漏れがある。	インテークバルブの汚れを除去します。ボールシートは、引っかけ傷が付いていたり摩耗したりせずに、健全であるようにします。バルブを再組立します。
	ポンプパッキンが磨耗している。	ポンプパッキンを交換します。ポンプの取扱説明書を参照してください。
	塗料が厚過ぎる。	供給業者の推奨に従って塗料の粘度を下げます。
表示がない状態で、スプレーヤが動作。	ディスプレイが損傷しているか、または接続不良。	接続を確認してください。ディスプレイを交換します。

電気系統

徴候：スプレーヤが動作しない、動作中に停止する、または遮断しない。

圧力開放の手順、13 ページを実行してください。

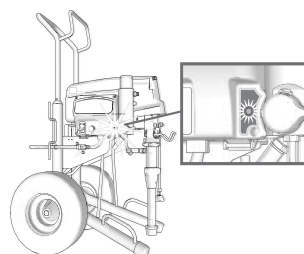


- 正しい電圧の接地済みのコンセントにコードを差し込みます。
- 電源スイッチを 30 秒間オフにして、次に再びオンにします（これにより、スプレーヤは正常な実行モードになります）。
- 圧力コントロールノブを時計方向に 1/2 回転回します。
- デジタル表示を表示させます。

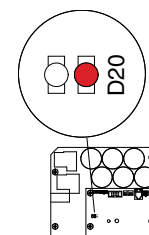


故障対策の工程では、電気的および作動する部品には触れないでください。トラブルシューティングのためにカバーを取り外す際は、感電を回避するために、電源コードを抜いた後に 5 分間待って、溜まった電気を放散させます。

ProGuard ステータスライト

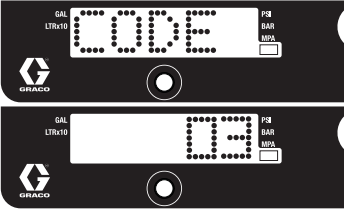
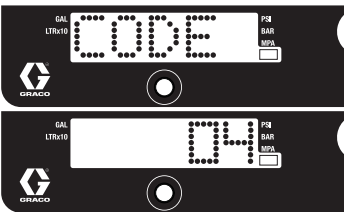


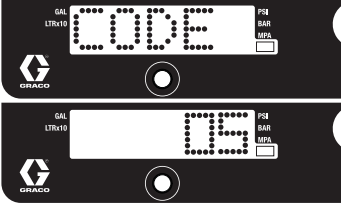
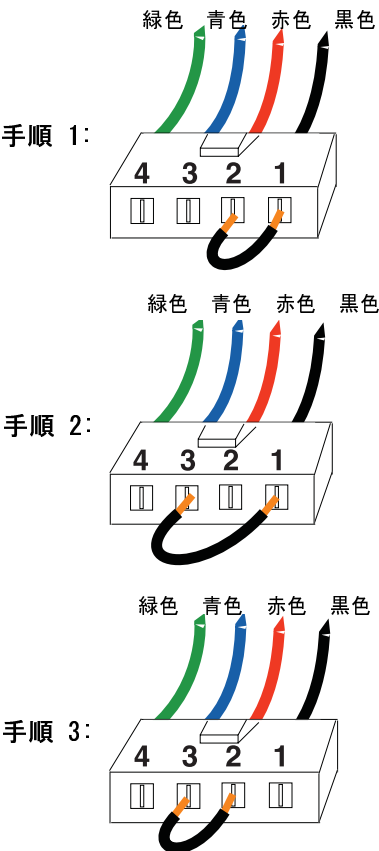
制御盤ステータスライト

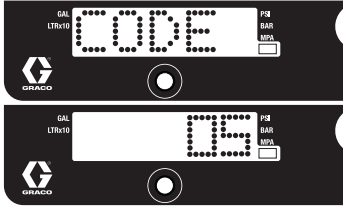
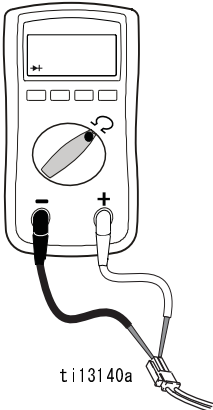


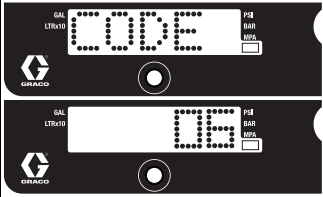
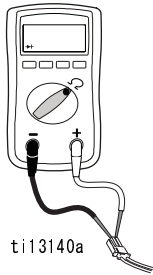
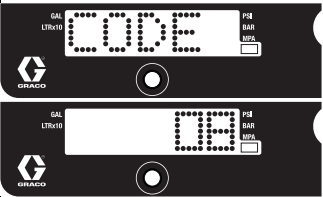
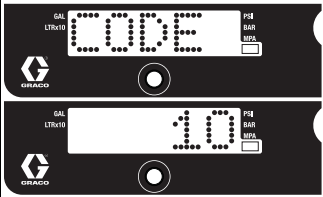
ディスプレイなしの装置の場合は、ProGuard (18 ページ) を参照してください。電圧供給の問題 (CODE04、08、または 17) が存在する場合には、オン/オフスイッチがオンのとき、ProGuard ステータスランプが連続的に点滅します。どのコード（または電圧供給以外の他のコード）にするかを決定するには、制御盤ステータスライトを参照します。オン/オフスイッチをオフにして背面カバーを外し、次に電源をオンに戻します。ステータスライトを観察します。LED 合計値の点滅は、エラーコードを意味します。（例、2 回の点滅はコード 02 です）。

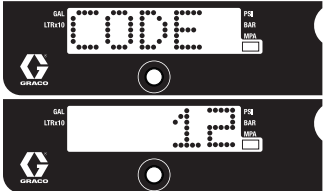
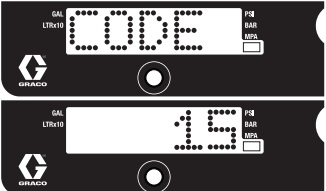
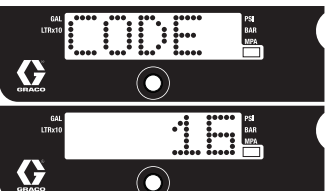
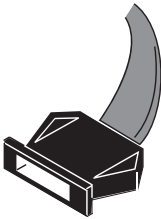
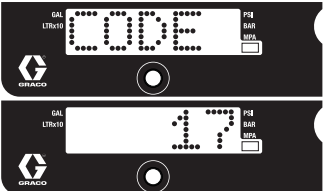
故障内容	点検すべき点	点検の方法
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイに何も表示されない ProGuard ステータスライトおよび 制御盤ステータスライトが点灯しない	33 ページのフローチャートを参照してください。	
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 02 を表示	トランスデューサまたはトランス デューサの接続を点検します。	<ol style="list-style-type: none"> システム内の圧力がないことを確認します（圧力開放、13 ページを参照してください）。フィルタの詰まりのような液路の詰まりがないことを確認します。 最低 1/4 インチ x 50 フィートの無金属編組のエアレス塗料スプレーヤホースを使用します。より小さいホースまたは金属編組ホースを使用すると、高圧スパイクを引き起こす可能性があります。 スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 制御基板のトランスデューサおよび接続を点検します。 制御盤のソケットからトランスデューサを取り外します。トランスデューサと制御盤の接点が清浄で安全であることを確認します。 制御盤のソケットにトランスデューサを再び接続します。電源を接続し、スプレーヤをオンにして、コントロールノブを時計回りに 1/2 回転回します。スプレーヤが適切に動作しない場合は、スプレーヤをオフにして、次の手順に進みます。 新しいトランスデューサを取り付けます。電源を接続し、スプレーヤをオンにして、コントロールノブを時計回りに 1/2 回転回します。スプレーヤが適切に動作しない場合は、制御装置を交換します。
制御盤ステータスライトが連続して 2 回点滅		

故障内容	点検すべき点	点検の方法
<p>スプレーヤがまったく動作しない</p> <p>ディスプレイがコード 03 を表示</p>  <p>制御盤ステータスライトが連続して 3 回点滅</p>	<p>トランスデューサまたはトランスデューサの接続を点検します（制御盤は圧力信号を検出していません）。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 2. 制御基板のトランスデューサおよび接続を点検します。 3. 制御盤のソケットからトランスデューサを取り外します。トランスデューサと制御盤の接点が清浄で安全であることを確認します。 4. 制御盤のソケットにトランスデューサを再び接続します。電源を接続し、スプレーヤをオンにして、コントロールノブを時計回りに 1/2 回転回します。スプレーヤが動作しない場合は、スプレーヤをオフにして、次の手順に進みます。 5. 制御盤のソケットに動作確認を済ませたトランスデューサを接続します。 6. スプレーヤをオンにして、コントロールノブを時計回りに 1/2 回転回します。スプレーヤが作動する場合は、新しいトランスデューサを取り付けます。スプレーヤが動作しない場合は、制御装置を交換します。 7. トランスデューサの抵抗をオーム計で確認します。（赤と黒のワイヤー間で 9K Ω 未満。緑と黄色のワイヤー間で 3 ~ 6 K Ω）。
<p>スプレーヤがまったく動作しない</p> <p>ディスプレイがコード 04 を表示</p>  <p>制御盤ステータスライトが連続して 4 回点滅</p>	<p>スプレーヤへの電圧供給を点検します（制御盤は複数の電圧サージを検出しています）。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 2. 清浄な電圧供給を確保して機器の損傷を防ぎます。

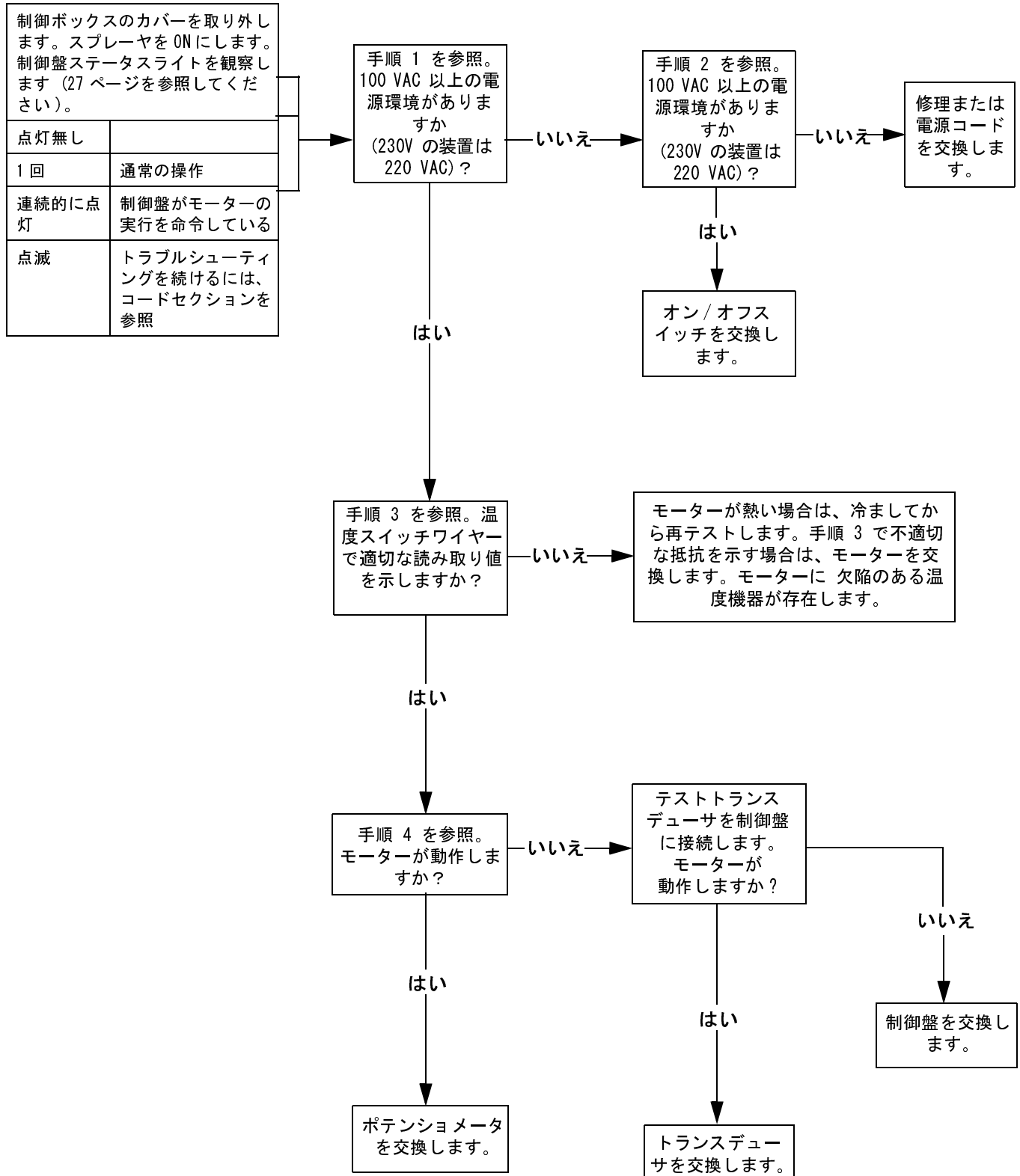
故障内容	点検すべき点	点検の方法
<p>スプレーヤがまったく動作しない</p> <p>ディスプレイがコード 05 を表示</p> 	<p>制御は、モーターの実行を命令していますが、モータ軸は回転しません。ローターがロックされた状態の可能性があり、モーターと制御の間で接続されていない箇所が存在します。モーターまたは制御盤に問題があるか、またはモーターアンプドローが過剰です。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポンプを取り除き、スプレーヤの操作を試します。モーターが動作する場合は、ポンプがロックまたは凍結していないか、もしくは駆動列を点検します。スプレーヤが動作しない場合は、手順 2 を続行します。 2. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 3. 制御盤のソケットからモータの接続を外します。モーターコネクタと制御盤が清浄で安全であることを確認します。接点が清浄で安全な場合は、手順 4 を続行します。 4. スプレーヤをオフにし、スピンモーターファンを 1/2 回転回します。スプレーを再び始動します。スプレーが作動する場合、制御盤を交換します。スプレーヤが動作しない場合は、手順 5 を続行します。 5. スピンの実行：大型 4 ピンモーターフィールドコネクタでテストします。スプレーヤから液体ポンプの接続を外します。ピン 1 および 2 にジャンパーをつけてモーターをテストします。毎秒約 2 回転でモーターファンを回転させます。運動に対するコギング抵抗が、ファンで感じられるはずですが、抵抗が感じられない場合は、モーターを交換する必要があります。ピンの組み合わせ 1 と 3、2 と 3 を繰り返します。ピン 4（緑色ワイヤー）はこのテストでは使用しません。すべてのスピンテストが良好である場合は、手順 6 を続行します。
<p>制御盤ステータスライトが連続して 5 回点滅</p>		 <p>手順 1:</p> <p>手順 2:</p> <p>手順 3:</p>

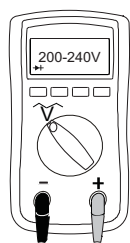
故障内容	点検すべき点	点検の方法												
<p>スプレーヤがまったく動作しない</p> <p>ディスプレイがコード 05 を表示</p> 	<p>制御は、モーターの実行を命令していますが、モータ軸は回転しません。ローターがロックされた状態の可能性があります、モーターと制御の間で接続されていない箇所が存在します。モーターまたは制御盤に問題があるか、またはモーターアンプドローが過剰です。</p>	<p>6. フィールドショートテストを行います：大型 4 ピンモーターフィールドコネクタでテストします。ピン 4、接地線、残りの 3 ピンのいずれかからの導通していない必要があります。モーターフィールドコネクタのテストに失敗した場合は、モーターを交換してください。</p> <p>7. モーター温度スイッチの確認：温度ワイヤーの接続を外します。メーターを Ω に設定します。メーターは、各装置の適切な抵抗を読み取る必要があります（以下の表を参照してください）。</p>												
<p>制御盤ステータスライトが連続して 5 回点滅</p>		 <p>ti13140a</p> <table border="1" data-bbox="880 1087 1349 1287"> <thead> <tr> <th colspan="2">抵抗表：</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>695/240V Mark IV</td> <td>0 Ω</td> </tr> <tr> <td>795/120V Mark IV</td> <td>2k Ω</td> </tr> <tr> <td>1095/240V Mark V</td> <td>3.9k Ω</td> </tr> <tr> <td>1595/120V Mark V/MARK VII</td> <td>6.2k Ω</td> </tr> <tr> <td>MARK X</td> <td>10.0k Ω</td> </tr> </tbody> </table>	抵抗表：		695/240V Mark IV	0 Ω	795/120V Mark IV	2k Ω	1095/240V Mark V	3.9k Ω	1595/120V Mark V/MARK VII	6.2k Ω	MARK X	10.0k Ω
抵抗表：														
695/240V Mark IV	0 Ω													
795/120V Mark IV	2k Ω													
1095/240V Mark V	3.9k Ω													
1595/120V Mark V/MARK VII	6.2k Ω													
MARK X	10.0k Ω													

故障内容	点検すべき点	点検の方法												
<p>スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 06 を表示</p>  <p>制御盤ステータスライトが連続して 6 回点滅</p>	<p>スプレーを冷まします冷めた状態でスプレーが作動する場合は、過熱の原因を修理しますスプレーを十分換気されたより涼しい場所に保管しますモータの空気取り入れ口が閉鎖されていないことを確実にしますスプレーヤが動作しない場合は、手順 1 を実行します。</p>	<p>注：テストのためにモーターを冷ます必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温度機器コネクタ（黄色ワイヤー）を 制御盤でチェックします。 2. 制御盤のソケットから温度機器コネクタを取り外します。接点が清浄で安全であることを確認します。温度機器の抵抗を測定します。読み取り値が正しくない場合は、モーターを交換してください。 <p>モーター温度スイッチの確認：温度ワイヤーの接続を外します。メーターを Ω に設定します。メーターは、各装置の適切な抵抗を読み取る必要があります（以下の表を参照してください）。</p>  <table border="1" data-bbox="976 863 1446 1062"> <thead> <tr> <th colspan="2">抵抗表：</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>695/240V Mark IV</td> <td>0 Ω</td> </tr> <tr> <td>795/120V Mark IV</td> <td>2k Ω</td> </tr> <tr> <td>1095/240V Mark V</td> <td>3.9k Ω</td> </tr> <tr> <td>1595/120V Mark V/MARK VII</td> <td>6.2k Ω</td> </tr> <tr> <td>MARK X</td> <td>10.0k Ω</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 3. 温度機器コネクタを制御盤のソケットに再び接続します。電源を接続し、スプレーヤをオンにして、コントロールノブを時計回りに 1/2 回転回します。スプレーヤが動作しない場合、制御盤を交換します。 	抵抗表：		695/240V Mark IV	0 Ω	795/120V Mark IV	2k Ω	1095/240V Mark V	3.9k Ω	1595/120V Mark V/MARK VII	6.2k Ω	MARK X	10.0k Ω
抵抗表：														
695/240V Mark IV	0 Ω													
795/120V Mark IV	2k Ω													
1095/240V Mark V	3.9k Ω													
1595/120V Mark V/MARK VII	6.2k Ω													
MARK X	10.0k Ω													
<p>スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 08 を表示</p>  <p>制御盤ステータスライトが連続して 8 回点滅</p>	<p>スプレーヤへの電圧供給を点検します（スプレーヤの操作には入力電圧が低すぎます）。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 2. 同じ回路を使用する他の機器を取り外します。 3. 清浄な電圧供給を確保して機器の損傷を回避します。 												
<p>スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 10 を表示</p>  <p>制御盤ステータスライトが連続して 10 回点滅</p>	<p>制御盤が過熱していないか点検します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. モータの空気取り入れ口が閉鎖されていないことを確実にします。 2. ファンが故障していないことを確認します。 3. コントロールボードがバックプレートに適切に接続され、導電性のサーマルペーストが入力電圧部品に対して使用されていること。 4. 制御盤を交換します。 5. モーターを交換します。 												

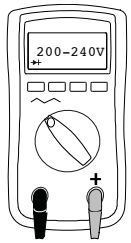
故障内容	点検すべき点	点検の方法
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 12 を表示  制御盤ステータスライトが連続して 12 回点滅	過電流保護が有効になっている。	1. 電源をいったんオンにし、それからオフにします。
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 15 を表示  制御盤ステータスライトが連続して 15 回点滅	モーターの接続を点検します。	1. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 2. モーターシュラウドを外します。 3. モーター制御の接続を外し、コネクタに損傷がないかを検査します。 4. モーター制御を再び接続します。 5. 電源を ON にします。コードが続く場合は、モーターを交換します。
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 16 を表示  制御盤ステータスライトが連続して 16 回点滅	接続を確認してください。制御は、モーター位置センサー信号を受信していません。	1. 電源を OFF にします。 2. モーター位置センサーの接続を外し、コネクタに損傷がないかを検査します。  <p style="text-align: center;">ti18685a</p> 3. 電源を再び接続します。 4. 電源を ON にします。コードが続く場合は、モーターを交換します。
スプレーヤがまったく動作しない ディスプレイがコード 17 を表示  制御盤ステータスライトが連続して 17 回点滅	スプレーヤへの電圧供給を点検します（スプレーヤが誤った電圧に接続されています）。	1. スプレーヤをオフにし、スプレーヤの電源接続を外します。 2. 清浄な電圧供給を確保して機器の損傷を回避します。

スプレーヤが動作しない
 (手順については次のページを参照してください)

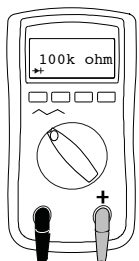
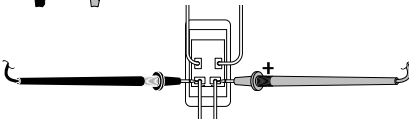
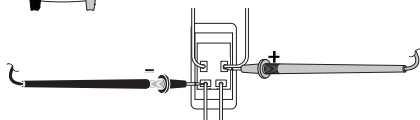




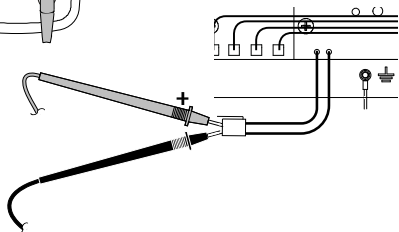
手順 1:
電源コードを接続して、スイッチをオンにします。プローブをオン/オフスイッチに接続します。メーターを AC 電圧に変えます。



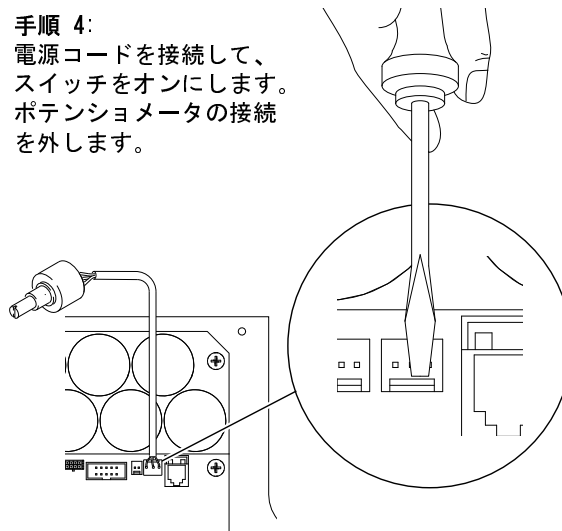
手順 2:
電源コードを接続して、スイッチをオンにします。プローブをオン/オフスイッチに接続します。メーターを AC 電圧に変えます。



手順 3:
モーター温度スイッチを点検します。黄色ワイヤーの接続を外します。メーターは、30 ページの抵抗表に従って読み取る必要があります。注：モーターは、読み取り中は冷めている必要があります。



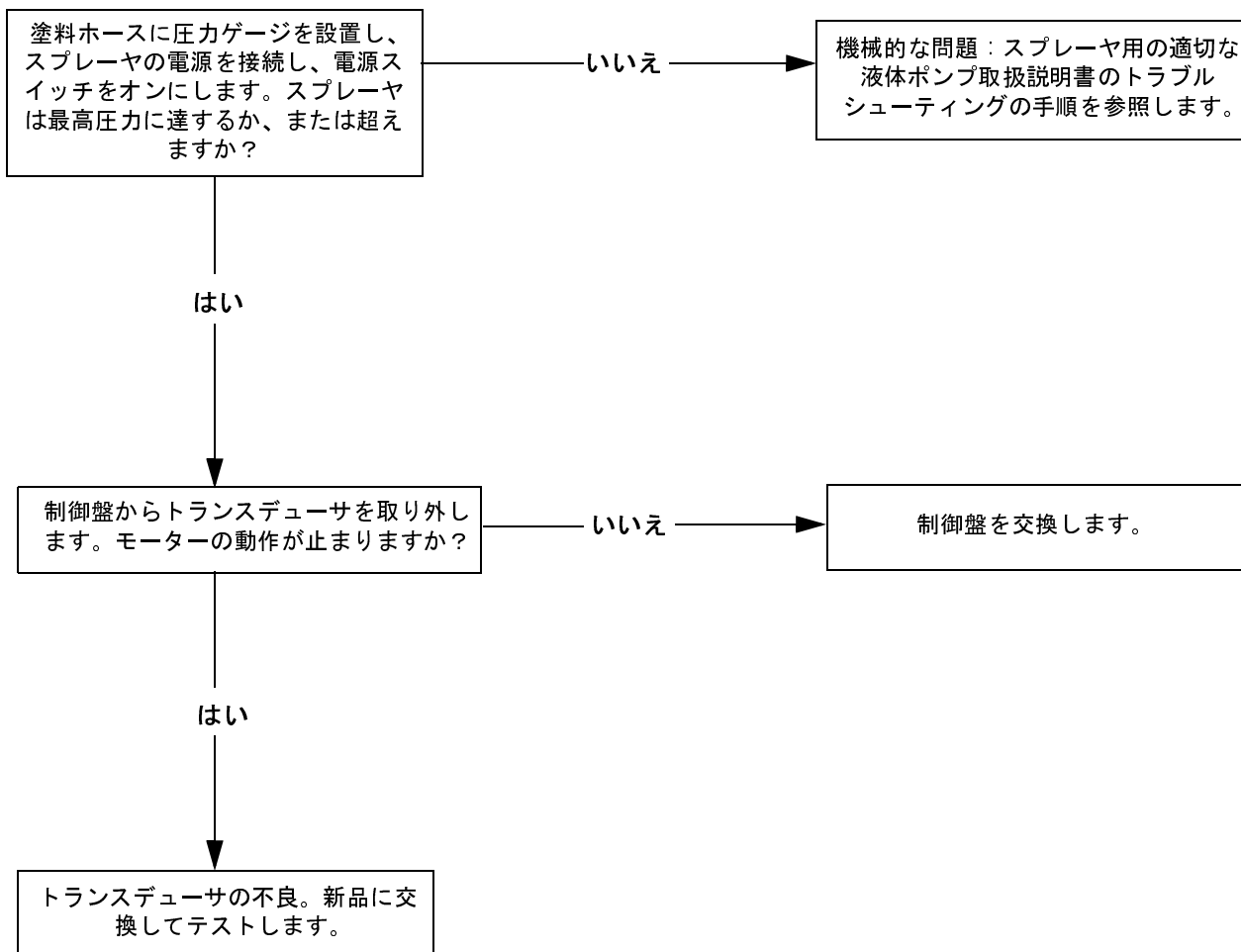
手順 4:
電源コードを接続して、スイッチをオンにします。ポテンシオメータの接続を外します。



スプレーヤが遮断しない

1. 圧力開放の手順、13 ページを実行してください。プライムバルブを開いたままにして、電源スイッチをオフにします。
2. 可能な場合は制御盤ステータスライトが見えるように、制御ボックスのカバーを取り外します。

トラブルシューティング手順



技術データ

695 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量		
北米モデル	0.95 gpm	3.6 lpm
国際モデル	0.75 gpm	2.8 lpm
最大チップサイズ	0.031	0.031
液体アウトレット npsm	1/4 インチ	1/4 インチ
サイクル	226/ ガロン	60/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	14.8, 50/60	14.8, 8, 50/60
230V, A, Hz	9, 50/60	9, 50/60
寸法		
重量：		
標準シリーズ Lo-Boy	94 ポンド	43 kg
標準シリーズ Hi-Boy	94 ポンド	43 kg
ProContractor	111 ポンド	50 kg
全高：		
標準シリーズ Lo-Boy	27.5 インチ	69.9 cm
標準シリーズ Hi-Boy	28.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.75 インチ (ハンドルアップ時)	72.4 cm (ハンドルダウン時) 98.4 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
長さ：		
標準シリーズ Lo-Boy	37 インチ	94 cm
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	29.5 インチ	75 cm
幅：	22.5 インチ	57.2 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル：		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

795 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量		
北米モデル	1.1 gpm	4.2 lpm
国際モデル	0.95 gpm	3.6 lpm
最大チップサイズ	0.033	0.033
液体アウトレット npsm	1/4 インチ	1/4 インチ
サイクル	195/ ガロン	52/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	15, 50/60	15, 50/60
230V, A, Hz	10, 50/60	10, 50/60
寸法		
重量：		
標準シリーズ Lo-Boy	98 ポンド	45 kg
標準シリーズ Hi-Boy	98 ポンド	45 kg
ProContractor	115 ポンド	52 kg
全高：		
標準シリーズ Lo-Boy	27.5 インチ	69.9 cm
標準シリーズ Hi-Boy	28.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.75 インチ (ハンドルアップ時)	72.4 cm (ハンドルダウン時) 98.4 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
長さ：		
標準シリーズ Lo-Boy	37 インチ	94 cm
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	29.5 インチ	75 cm
幅：	22.5 インチ	57.2 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル：		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

1095 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量		
北米モデル	1.2 gpm	4.5 lpm
国際モデル	1.1 gpm	4.1 lpm
最大チップサイズ	0.035	0.035
液体アウトレット npsm	1/4 インチ	1/4 インチ
サイクル	123/ ガロン	33/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	15, 50/60	15, 50/60
230V, A, Hz	10, 50/60	10, 50/60
寸法		
重量:		
標準シリーズ Hi-Boy	120 ポンド	55 kg
ProContractor	141 ポンド	64 kg
IronMan	127 ポンド	58 kg
全高:		
標準シリーズ Hi-Boy	29.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.5 インチ (ハンドルアップ時)	74.9 cm (ハンドルダウン時) 97.8 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
IronMan	40.2 インチ	102 cm
長さ:		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	28 インチ	71 cm
IronMan	29.9 インチ	76 cm
幅:		
標準シリーズ Hi-Boy	24 インチ	61 cm
ProContractor	24 インチ	61 cm
IronMan	24.4 インチ	62 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル:		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

1595 スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量	1.35 gpm	5.1 lpm
最大チップサイズ	0.039	0.039
液体アウトレット npsm	1/4 インチ	1/4 インチ
サイクル	110/ ガロン	29/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	20/15, 50/60	20/15, 50/60
寸法		
重量：		
標準シリーズ Hi-Boy	125 ポンド	57 kg
ProContractor	146 ポンド	66 kg
IronMan	132 ポンド	60 kg
全高：		
標準シリーズ Hi-Boy	29.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.5 インチ (ハンドルアップ時)	74.9 cm (ハンドルダウン時) 97.8 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
IronMan	40.2 インチ	102 cm
長さ：		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	28 インチ	71 cm
IronMan	29.9 インチ	76 cm
幅：		
標準シリーズ Hi-Boy	24 インチ	61 cm
ProContractor	24 インチ	61 cm
IronMan	24.4 インチ	62 cm
接液部品		
	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル：		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

Mark IV Sprayers		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量		
北米モデル	1.1 gpm	4.2 lpm
国際モデル	0.95 gpm	3.6 lpm
最大チップサイズ		
北米モデル	0.033	0.033
国際モデル	0.031	0.031
液体アウトレット npsm	3/8 インチ	3/8 インチ
サイクル	195/ ガロン	52/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	15, 50/60	15, 50/60
230V, A, Hz	10, 50/60	10, 50/60
寸法		
重量:		
標準シリーズ Hi-Boy	98 ポンド	45 kg
ProContractor	119 ポンド	54 kg
全高:		
標準シリーズ Hi-Boy	28.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.75 インチ (ハンドルアップ時)	72.4 cm (ハンドルダウン時) 98.4 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
長さ:		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	29.5 インチ	75 cm
幅:	22.5 インチ	57.2 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル:		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

Mark V スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量		
北米および英国モデル	1.35 gpm	5.1 lpm
国際モデル	1.2 gpm	4.5 lpm
最大チップサイズ		
北米および英国モデル	0.039	0.039
国際モデル	0.035	0.035
液体アウトレット npsm	3/8 インチ	3/8 インチ
サイクル	110/ ガロン	29/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
120V, A, Hz	20/15, 50/60	20/15, 50/60
230V, A, Hz	10, 50/60	10, 50/60
寸法		
重量:		
標準シリーズ Hi-Boy	130 ポンド	59 kg
ProContractor	151 ポンド	68 kg
IronMan	137 ポンド	62 kg
全高:		
標準シリーズ Hi-Boy	29.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.5 インチ (ハンドルアップ時)	74.9 cm (ハンドルダウン時) 97.8 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
IronMan	40.2 インチ	102 cm
長さ:		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	28 インチ	71 cm
IronMan	29.9 インチ	76 cm
幅:		
標準シリーズ Hi-Boy	24 インチ	61 cm
ProContractor	24 インチ	61 cm
IronMan	24.4 インチ	62 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル:		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

Mark VII スプレーヤ		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量	1.58 gpm	6.0 lpm
最大チップサイズ	0.041 インチ	0.041 インチ
液体アウトレット npsm	1/2 インチ	1/2 インチ
サイクル	97/ ガロン	26/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
230V, A, Hz	16, 50/60	16, 50/60
寸法		
重量：		
標準シリーズ Hi-Boy	139 ポンド	63 kg
ProContractor	160 ポンド	73 kg
全高：		
標準シリーズ Hi-Boy	29.5 インチ (ハンドルダウン時) 38.5 インチ (ハンドルアップ時)	74.9 cm (ハンドルダウン時) 97.8 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
長さ：		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	28 インチ	71 cm
幅：	24 インチ	61 cm
接液部品		
	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル：		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

Mark X Sprayers		
	米国	メートル法
スプレーヤ		
最大放出量	2.1 gpm	8.0 lpm
最大チップサイズ	0.045 インチ	0.045 インチ
液体アウトレット npsm	1/2 インチ	1/2 インチ
サイクル	70/ ガロン	19/ ガロン
最小の発電機	5000 W	5000 W
230V, A, Hz	16, 50/60	
寸法		
重量：		
標準シリーズ Hi-Boy	154 ポンド	70 kg
ProContractor	178 ポンド	81 kg
全高：		
標準シリーズ Hi-Boy	29.9 インチ (ハンドルダウン時) 40.1 インチ (ハンドルアップ時)	76 cm (ハンドルダウン時) 102 cm (ハンドルアップ時)
ProContractor	39 インチ	99 cm
長さ：		
標準シリーズ Hi-Boy	26 インチ	66 cm
ProContractor	30 インチ	75 cm
幅：	24 インチ	61 cm
接液部品		
	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、ナイロン、ステンレス鋼、PTFE、Acetel、皮、UHMWPE、アルミニウム、タングステンカーバイド、PEEK、真鍮	
騒音レベル：		
音響出力	91 dBa*	91 dBa*
音圧	82 dBa*	82 dBa*
	ISO 3744 に準拠し 3.1 フィートの距離で測定	ISO 3744 に準拠し 1 m の距離で測定

Graco Standard Warranty

Graco warrants all equipment referenced in this document which is manufactured by Graco and bearing its name to be free from defects in material and workmanship on the date of sale to the original purchaser for use. With the exception of any special, extended, or limited warranty published by Graco, Graco will, for a period of twelve months from the date of sale, repair or replace any part of the equipment determined by Graco to be defective. This warranty applies only when the equipment is installed, operated and maintained in accordance with Graco's written recommendations.

This warranty does not cover, and Graco shall not be liable for general wear and tear, or any malfunction, damage or wear caused by faulty installation, misapplication, abrasion, corrosion, inadequate or improper maintenance, negligence, accident, tampering, or substitution of non-Graco component parts. Nor shall Graco be liable for malfunction, damage or wear caused by the incompatibility of Graco equipment with structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco, or the improper design, manufacture, installation, operation or maintenance of structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco.

This warranty is conditioned upon the prepaid return of the equipment claimed to be defective to an authorized Graco distributor for verification of the claimed defect. If the claimed defect is verified, Graco will repair or replace free of charge any defective parts. The equipment will be returned to the original purchaser transportation prepaid. If inspection of the equipment does not disclose any defect in material or workmanship, repairs will be made at a reasonable charge, which charges may include the costs of parts, labor, and transportation.

THIS WARRANTY IS EXCLUSIVE, AND IS IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR WARRANTY OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Graco's sole obligation and buyer's sole remedy for any breach of warranty shall be as set forth above. The buyer agrees that no other remedy (including, but not limited to, incidental or consequential damages for lost profits, lost sales, injury to person or property, or any other incidental or consequential loss) shall be available. Any action for breach of warranty must be brought within two (2) years of the date of sale.

GRACO MAKES NO WARRANTY, AND DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, IN CONNECTION WITH ACCESSORIES, EQUIPMENT, MATERIALS OR COMPONENTS SOLD BUT NOT MANUFACTURED BY GRACO. These items sold, but not manufactured by Graco (such as electric motors, switches, hose, etc.), are subject to the warranty, if any, of their manufacturer. Graco will provide purchaser with reasonable assistance in making any claim for breach of these warranties.

In no event will Graco be liable for indirect, incidental, special or consequential damages resulting from Graco supplying equipment hereunder, or the furnishing, performance, or use of any products or other goods sold hereto, whether due to a breach of contract, breach of warranty, the negligence of Graco, or otherwise.

Graco Information

For the latest information about Graco products, visit www.graco.com.

For patent information, see www.graco.com/patents.

TO PLACE AN ORDER, contact your Graco distributor or call 1-800-690-2894 to identify the nearest distributor.

All written and visual data contained in this document reflects the latest product information available at the time of publication. Graco reserves the right to make changes at any time without notice.

取扱説明書原文の翻訳. This manual contains Japanese. MM 332916

Graco Headquarters: Minneapolis
International Offices: Belgium, China, Japan, Korea

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES · P. O. BOX 1441 · MINNEAPOLIS MN 55440-1441 · USA

Copyright 2014, Graco Inc. All Graco manufacturing locations are registered to ISO 9001.

www.graco.com

Revision C - March 2014